

# あんしんレポート2012

CSR取り組みに関する報告書



# 編集にあたって

## 編集方針

シスメックスの社会的責任(CSR)に関する考え方とその活動について、ステークホルダーの皆様へお伝えし、皆様との対話を深めることを目的として、毎年「シスメックスあんしんレポート」を発行しています。

第6回目の発行となる今回は、重要性の高い活動内容のみを掲載した「ダイジェスト版」と、詳細情報まで網羅した「詳細版」の2通りの報告書をご用意しました。また、Webサイトでは、方針や体制などの恒常的なCSR情報を開示しています。これにより、読まれる方の専門性や興味の度合いに応じて、より適した報告形態を選んでいただけるようにしています。

## 報告範囲

### 対象期間

2011年度(2011年4月1日から2012年3月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

### 対象組織

原則としてシスメックスグループ(シスメックス株式会社および国内・海外グループ会社)を対象としています。本報告書中の「シスメックス」はシスメックスグループを、「シスメックス(株)」は、シスメックス株式会社単体を指します。

## 参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)  
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」

## 発行時期

2012年7月

## 本報告書に関するお問い合わせ先

シスメックス株式会社

CSR本部 CSR・環境推進部

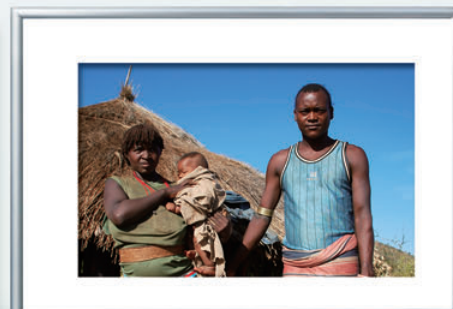
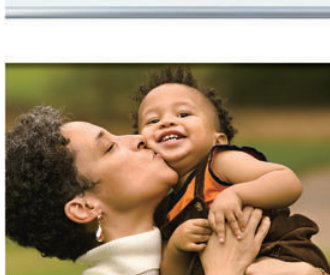
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

TEL. 078-265-0500(代表)

FAX. 078-265-1884

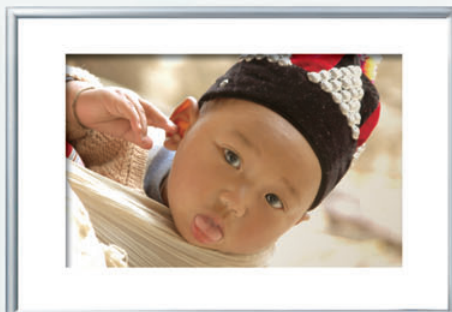
## 将来に関する予測・計画について

本報告書には、シスメックス株式会社とそのグループ会社に関する過去の事実だけでなく、将来の予測・計画なども記載しています。これらの予測・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本報告書に記載した予測・計画とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆様には、以上をご承知いただきますようお願いいたします。



# 目次

3	シスメックスについて	11	組織統治
5	トップメッセージ	15	人権／労働慣行
7	<b>特集①</b> 「ユーザビリティ」と「環境」に配慮した 血球分析装置を開発	19	環境
9	<b>特集②</b> スポーツを通じた 健康社会づくりに貢献	25	公正な事業慣行
		27	消費者課題
		30	コミュニティへの参画およびコミュニティの開発
		34	第三者意見
		35	会社情報



## シスメックスについて

# 「検査」を通じて健康社会の実現に貢献しています

定期健康診断や病院で受ける「検査」には2つの種類があります。一つは、レントゲンなどで身体を直接調べる「生体検査」。もう一つが、患者さんから採取した血液や尿、細胞などを調べる「検体検査」です。シスメックスは、研究開発から製造、販売、サービス&サポートまでの一貫体制のもと、この「検体検査」に必要な装置・試薬・ソフトウェアをトータルに提供しています。これらの製品を通じて、病気の早期発見や最適な治療方針の選択、病気の予防などに貢献しています。

### シスメックスの事業プロセス



#### 価値の高い検査・ 診断技術を創出

血液・免疫疾患、感染症、がん、慢性疾患など幅広い領域で、価値の高い検査・診断技術の創出を目指しています。



#### 品質を確保し、 製品を安定的に供給

徹底した品質管理に努めています。また、試薬の安定供給のために、グローバルな生産体制を構築しています。



#### 170カ国以上に製品・ サービスを提供

グローバルな販売ネットワークを構築し、世界170カ国以上の医療機関などに高品質の製品・サービスを提供しています。



#### お問い合わせに きめ細かく対応

コールセンターやネットワークシステムを通じてお問い合わせにきめ細かく対応するとともに、充実した学術サポートを実施しています。

研究開発

製造

販売

サービス  
&  
サポート

### シスメックスの製品



多項目自動血球分析装置



全自動血液凝固測定装置



遺伝子増幅検出装置



健康管理支援ソフトウェア



検査試薬「リノアンプ®BC」

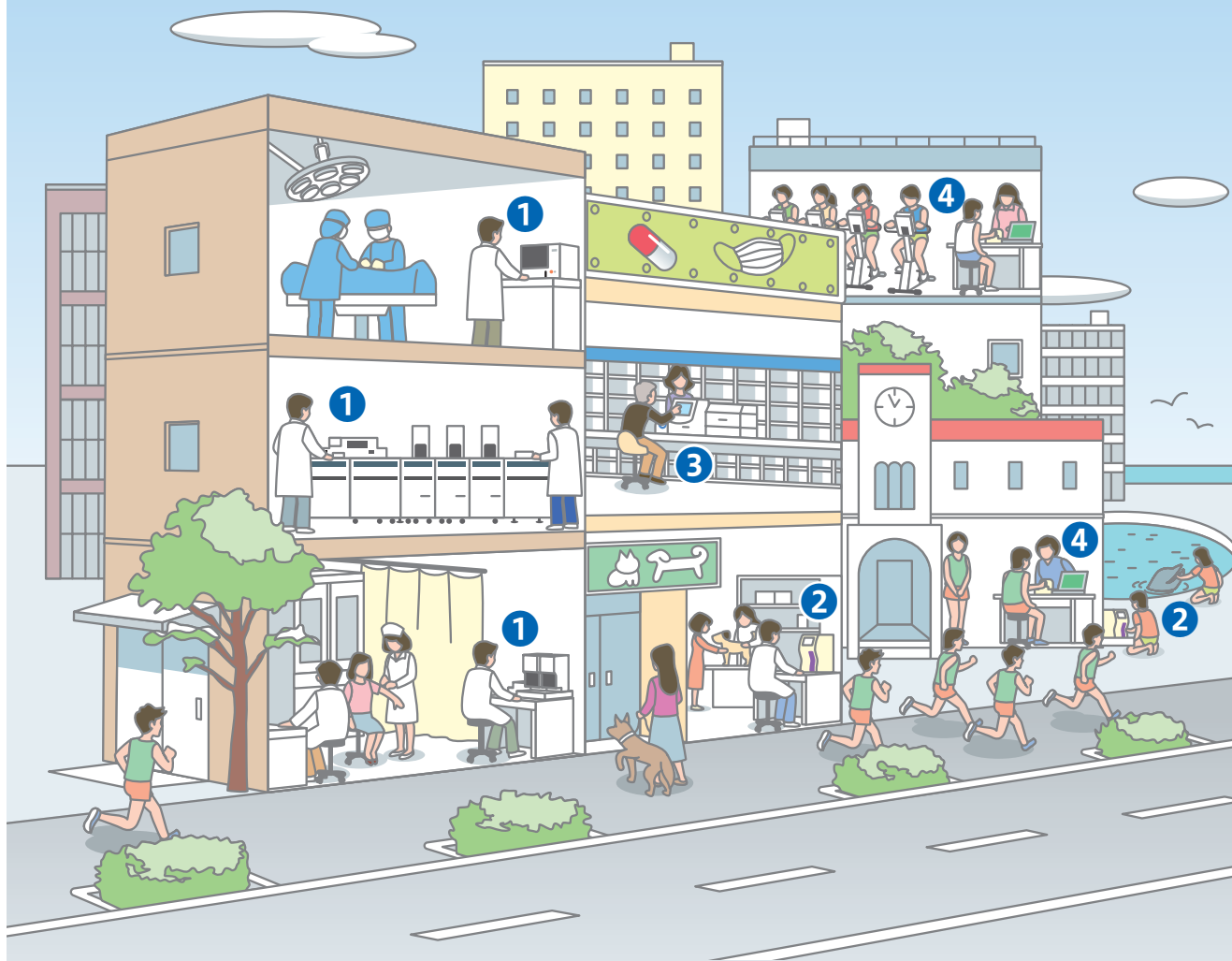
## ① 病院

血液検査は、定期検査や人間ドックで必ず行われています。身体の各器官・各組織の異常や変化は血液の成分に現れやすく、病気の早期発見・早期治療につながります。



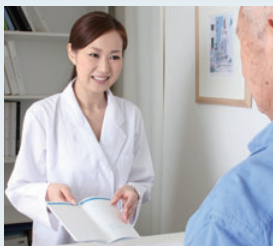
## ② 動物病院

動物が元気に過ごすには人と同様に健康管理が欠かせません。血液検査は、犬や猫などのペットをはじめ、水族館のイルカや動物園の動物たちの健康管理にも役立っています。



## ③ 薬局

体脂肪率や血圧などの店頭で行える簡易な身体測定結果と、生活習慣や食生活などの設問に対する回答とを合わせてデータ分析を行い、個人にあった健康に関する情報を提供します。



## ④ スポーツ

日々のトレーニングプログラムや栄養面の管理に活用するため、スポーツジムや大学・高校の陸上部などでヘモグロビン量の定期的な測定が行われています。



## トップメッセージ

# 価値の高い検査技術の創出に努め ステークホルダーの皆様に「安心」をお届けしていきます。

### 検査を通じて“ヘルスケアの進化”に貢献

シスメックスは、1968年の創業以来、検体検査の分野で先進の技術をベースに、さまざまな製品やサービスを生み出してきました。検体検査は、ヘルスケアの分野において病気の早期発見や治療方針の決定、疾病予防に重要な役割を果たします。現在、私たちの製品は、世界170カ国以上の医療機関にご使用いただいております。

社会構造の変化にともない、近年医療を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。新興国では、経済発展と人口増加が進み、医療ニーズが急速に高まっています。また、先進国では、少子高齢化や健康に対する価値観の多様化が進んでいます。シスメックスでは、こうした環境変化に

いち早く対応して、世界中の人々の「健康でありたい」という願いに応えていきたいと考えております。

2011年度には、主力の血液検査分野において新製品「XNシリーズ」を発売しました。この装置は、従来機種よりも機能・性能・操作性を向上させ、さらには血小板減少症の診断に有用な検査情報の提供など新たな機能を搭載することにより、医療現場に役立つ新たな価値をお届けします。また、ユーザーである臨床検査技師の方々の負担軽減や誤操作防止につながるさまざまな工夫を施すとともに、ネットワークを利用したメンテナンスや予防保守などのオンラインサービスを充実させています。このようなユーザーの使いやすさを重視したデザインが評価され、同シリーズは「2011年度 グッドデザイン金賞」を受賞しました。また、「XNシリーズ」は、環境にも配慮しています。濃縮試薬を採用するなどにより、廃棄物ならびにライフサイクルにおいてCO<sub>2</sub>排出量を従来機種に比べて大幅に削減することに成功しました。



シスメックスは、今後も「ヘルスケアの進化をデザインする」という使命のもと、患者様や健康を望む方々のQOL (Quality Of Life)の向上や医療機関の方々の負担軽減に役立つ価値の高い検査技術の創出に取り組んでまいります。

### ステークホルダーの皆様へ「安心」を提供

シスメックスは、企業理念である「Sysmex Way」に基づきステークホルダーの皆様へ「安心」をお届けするという考え方を大切にしています。

2011年度は、お客様により安心して製品をご使用いただくために、カイコを用いた本格的な原料開発をスタートさせました。当社が提供する診断薬製品の一部には牛やウサギなどの動物(哺乳類)由来の原料が用いられていますが、新興国の台頭にもともなう原料の使用量増加やBSE (Bovine Spongiform Encephalopathy: 牛海綿状脳症)などの感染症により原料調達に遅延のリスクがありました。また、動物由来原料には個体差があり、品質の安定した原料を入手することが難しいという問題も抱えています。このような問題を解決するため、これまで動物由来の原料に依存しない診断薬を目指して「タンパク質」の設計・量産技術の強化を進めてきましたが、このたびその一つとしてカイコを用いたタンパク質の開発体制を整えました。

### スポーツを通じた健康社会づくりへの貢献

シスメックスは、健康・医療分野を中心とした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。神戸医療産業都市構想への継続的な支援をはじめ、学術支援や検査の標準化への支援、がん撲滅団体への支援など、それぞれの地域の特성에応じた社会貢献活動をグローバルに展開しております。

2011年度には、神戸で開催された「第1回神戸マラソン」に特別協賛しました。神戸マラソンは、阪神淡路大震災の

シスメックスグループ企業理念

## Sysmex Way

### Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

### Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

### Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

復興に際し手を差し伸べていただいた皆様への感謝の気持ちを込め、「感謝と友情」をテーマに開催されました。地元神戸の企業としてこの趣旨に賛同するとともに、ヘルスケアに係わる企業としてスポーツを通じた健康社会づくりに貢献したいという想いから協賛させていただきました。なお、この大会には多くの従業員もボランティアとして参加し、大会運営をサポートしました。

シスメックスは、2011年2月に国連グローバル・コンパクト(GC)に参加しました。GCが定める「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」に関する10原則の実践に努め、グローバル企業としてCSR活動をさらに積極的に進めてまいります。

シスメックスは、これからもグループと地球社会の持続的な発展を実現するために挑戦を続けてまいります。ステークホルダーの皆様には、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年7月

代表取締役社長 冨次恒

# 「ユーザビリティ」と「環境」に配慮した 血球分析装置を開発

2011年5月、シスメックスは世界市場に向け新しい検査装置「XNシリーズ」を発売しました。快適な医療環境の提供を追求し、ユーザー視点に立った使いやすいデザインとするとともにゴミの減量化やCO<sub>2</sub>削減など、環境性能の向上にも力を注ぎました。



## 新しい技術を搭載した検査装置の開発

2011年5月、シスメックスは、世界市場に向け検査装置「XNシリーズ」を発売しました。この製品は、採取した血液中の赤血球・白血球・血小板などの数や種類、大きさを測定・分析し健康状態をチェックする血球分析装置です。

XNシリーズは、血小板減少症などの疾患の診断に有用な低値血小板数の測定精度の大幅な向上や、髄膜炎の抗菌剤治療の指標に有用な体液モードを搭載しました。このような機能・性能の向上に加え、ユーザビリティや環境に配慮していることもXNシリーズの大きな特徴です。

## 使いやすさ向上、誤操作防止に配慮した デザインで正確な検査データを支える

XNシリーズは、検査室の環境改善、臨床検査技師の負担軽減や誤操作の防止を目的としたユーザビリティの向上を図っています。お客様の動きを考慮し、お客様によりよい検査環境を提供するため人間中心設計のデザインを導入し、操作パネルの簡便化など操作性を大幅に向上させました。また、検査装置・操作画面・試薬消耗品などを一貫したデザインコンセプトで設計することで、正確かつ迅速な検体検査の実現を目指しています。

さらに、XNシリーズでは、オンラインサービスのさらなる充実も図りました。当社のオンラインシステムSNCS(Sysmex Network Communication Systems、詳細はp28参照)と接続することにより、装置・試薬の状態をリモートで把握し、装置のセンサーから得られるデータを分析することができます。これによって、不具合が発生する前に異常を検出してメンテナンスを行うことが可能となり、突発的な故障を未然に防ぎ、装置の安定稼働を支援します。

## 廃棄物の削減やCO<sub>2</sub>排出量低減に貢献する濃縮試薬

XNシリーズは、濃縮試薬「セルパックDST」を採用しています。「セルパックDST」は、従来の試薬である「セルパック(II)」を25倍に濃縮したもので、試薬調整装置「RU-20」と組み合わせ、希釈



## ユーザビリティ向上の新技術



**1** 見やすく操作しやすい  
タッチパネルの搭載



**2** カートリッジタイプの試薬で、  
ワンタッチで交換可能

多項目自動血球分析装置  
XNシリーズ



**GOOD DESIGN  
AWARD 2011**

医療関係者のユーザビリティ向上に貢献するデザインが  
認められ、「2011年度 グッドデザイン金賞」を受賞



**3** お客様の動きを考慮して  
操作ボタンを押しやすい位置に設置

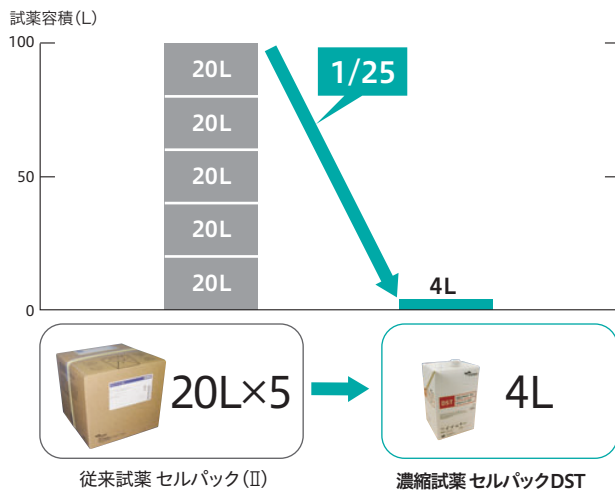


**4** 試薬に貼付したIDタグにより  
試薬管理が容易になり、誤接続も防止

して使用します。この濃縮試薬を使用することにより、1日の処理検体数が多い施設では、1日に数回交換する必要があった試薬の交換頻度を5分の1に削減することができます。

濃縮化によって、試薬のコンパクト化も実現しました。これにより、容器・包装材料を削減して省資源化に寄与するとともに、検査室で発生する廃棄物を大幅に減少させることができるようになりました。さらに、試薬容器の原料をポリエチレンから紙パックに切替えたことで、石油資源保全にも役立っています。

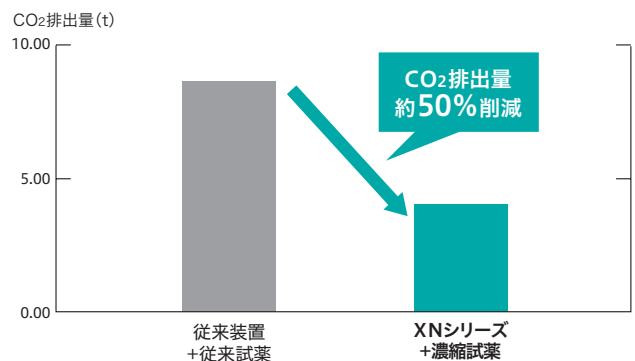
### XNシリーズの試薬は従来試薬の25倍濃縮試薬



また、濃縮試薬は、製品のライフサイクルを通じたCO<sub>2</sub>排出量削減にも貢献しています。当社従来製品では、製造から輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体のCO<sub>2</sub>排出量のうち、試薬の輸送に起因するCO<sub>2</sub>が約40%を占めていました。濃縮試薬によって軽量化、コンパクト化を図ったことにより、重量や容積が小さくなり輸送効率が大幅に向上するため、ライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>排出量を従来よりも50%程度削減できると試算しています。

今後もシスメックスは、価値の高い検査技術の創出に努め、増加する検査需要や多様化する検査ニーズに応えることのできる新たな製品やサービスを提供し、医療の発展と進化に貢献していきます。

### XNシリーズ+濃縮試薬と従来製品+試薬のCO<sub>2</sub>排出量



## お客様の声

XNシリーズは、低値の白血球と血小板の測定精度が大幅に向上し、その信頼性に基づく新たな検査知見による診療支援や、医療研究への貢献に期待が持てます。また、試薬の軽量化や交換回数の減少は私たちの負担を軽減し、使用後の廃棄物の減量化にも貢献しており、人と環境に優しい装置といえます。今後も顧客の声に耳を傾けていただくとともに、ニーズを取り入れたより良い製品開発に期待しています。

京都大学医学部附属病院 検査部 技師長 **志賀 修一** 様



# スポーツを通じた健康社会づくりに貢献

シスメックスはヘルスケアに関わる企業として、スポーツを通じた「健康社会」の実現を支援しています。従来から継続している女子陸上部の運営に加え、2011年度には、地元神戸で開催された初の市民マラソン大会に協賛しました。

## 2万人のランナーが駆け抜けた「第1回神戸マラソン」に特別協賛

2011年11月20日、神戸市で初めての市民マラソン「第1回神戸マラソン」(主催:兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫陸上競技協会)が開催されました。

シスメックスでは、「感謝と友情」という大会テーマに賛同し、また、スポーツを通じて健康の維持・増進に貢献したいとの想いから、この大会に特別協賛しました。

約2万名のランナーゼッケンなどの提供のほか、事前開催イベント「神戸マラソンEXPO」では、当社装置「アストリム」によるヘモグロビン測定を実施し、会場を盛り上げました。この装置は、持久力と大きな関わりがあるヘモグロビンを採血せずに測定できることから、マラソン直前の健康状態をチェックしたいランナーの方などに好評で、2日間で合計3,300名の来場者を測定しました。



「第1回神戸マラソン」スタートシーン(写真:神戸新聞社提供)



「神戸マラソンEXPO」(シスメックスのブース)



沿道での応援



従業員ボランティアによる給水

## 従業員ボランティアによる ランナーの応援や運営のサポート

シスメックスでは、これまでも従業員が自主的にチームを結成し、海岸の清掃活動や植樹活動などのボランティア活動を行ってきましたが、比較的規模の小さな活動が中心でした。

今回の神戸マラソンでは大規模な活動となり、グループの従業員やその家族を含めて、約180名がボランティアに参加しました。参加者は、給水ブースでの水の提供や、ゴール地点でのタオル掛け、コースの清掃活動などのサポートをしました。参加者からは、「ボランティア活動を通じて貴重な体験ができ、非常によかった」との声が多く寄せられました。

大会当日は約52万名の方々が2万名を超える市民ランナーに声援を送るなか、シスメックスからも沿道応援約150名が参加し、「神戸から笑顔を」のメッセージを掲げて、ランナーを応援しました。また、沿道に設置された特設スタジオでは社内有志メンバーによるバンドが演奏を行うなど神戸マラソンを盛り上げました。

2012年11月25日に第2回大会が開催されます。シスメックスは、今後も継続的に神戸マラソンを支援していく予定です。

## 世界で活躍するアスリートを育成する 女子陸上競技部を運営

シスメックスでは、神戸マラソンへの協賛以外にもいくつかのスポーツ支援活動を展開しています。その一つが世界の大舞台で活躍する野口みずき選手やトップアスリートを目指す若手選手が所属する女子陸上競技部の運営です。これまでに、2011年10月に開催された「実業団女子駅伝 西日本大会」で準優勝し、全日本大会に出場するなどの実績を残しています。

女子陸上競技部は、現在、京都市右京区に練習拠点を置いています。より一層、地元・神戸の地域社会との交流を活性化するため、練習拠点を2013年4月に本社のある兵庫県神戸市に移転する予定です。

今後もシスメックスは、スポーツ振興による豊かな健康社会の実現を支援していきます。

### 従業員の声

「第1回 神戸マラソン」に、完走メダルを掛けるボランティアとして参加させていただきました。ゴール直後のランナーの皆さんは、達成感に満ち溢れた表情で、応援している私たちに元気や感動を与えてくれました。また、地元神戸や国内外から集まったランナーの皆さんとのつながりや一体感を味わうことができ、貴重な経験となりました。

人事部人事課 生島 久美子



### 社内の管理栄養士によるスポーツと栄養に関する講演を実施

2011年12月に大阪の夕陽丘学園短期大学食物栄養学科2年生の皆さんに「スポーツと栄養」と題した講演を行いました。アスリートの食事内容や必要な栄養素の紹介、アスリートのパフォーマンスとヘモグロビンについて実例を交えて説明を行い、最後には学生の皆さんに当社装置によるヘモグロビン測定を体験いただきました。また、講演では、トップアスリートの食事内容など日々留意している点なども盛り込み、大変興味を持っていただきました。



### 参加者の声【スポーツを栄養面から科学することが重要です】

今回の講習会で、学生たちはアスリートの食事内容が競技成績に大いに影響することを学び、コンディショニング管理の大切さを痛感したようです。スポーツを栄養面から科学することは、アスリートがより良い競技成績を出すことにつながっていきます。今後、アスリートの栄養管理やコンディショニングの把握に活用できる測定機器の開発に期待しています。

大阪夕陽丘学園短期大学 食物栄養学科 教授 医学博士 川合 清洋 様



## 社会から信頼される企業を目指して

シスメックスは、経営の健全性と透明性を高め、経営効率を向上させるためにコーポレート・ガバナンス体制の強化に取り組んでいます。また、ステークホルダーの皆様の立場を尊重し、高い倫理観に基づく正々堂々とした事業活動を追求しています。

シスメックスグループ企業理念

### Systemex Way

#### Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

#### Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

#### Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

#### 行動基準

##### お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

##### 従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

##### 取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

##### 株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心を届けます。堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

##### 社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

## CSR活動の推進

### シスメックスのCSRは「Systemex Way」の実践を通じて皆様に「安心」をお届けすること

シスメックスのCSRとは、シスメックスグループ企業理念「Systemex Way」の実践を通じて、ステークホルダーの皆様に「安心」をお届けすることと考えています。「Systemex Way」は、企業活動の最も基本的なあり方を示したもので、シスメックスが社会に貢献し、そして成長し続けるために必要なMission、Value、Mindの3つの要素で構成しています。さらに「行動基準」では、お客様、従業員、取引先、株主、社会というそれぞれのステークホルダーの皆様に対する提供価値を明確にしています。シスメックスは、グループの従業員一人ひとりが「Systemex Way」を共有し、日常の業務の中で具体的な行動に移すことを大切にしています。

また、2011年2月には、CSRへの取り組みをさらに積極化するために、国連グローバル・コンパクトに参加し、「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」に関わる10原則の実践に取り組んでいます。



#### 国連グローバル・コンパクトの10原則

人権	1. 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
	2. 人権侵害に荷担しない。
労働基準	3. 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
	4. あらゆる形態の強制労働を排除する。
	5. 児童労働を実効的に廃止する。
環境	6. 雇用と職業に関する差別を撤廃する。
	7. 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
	8. 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
腐敗防止	9. 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。
	10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

## CSRの重点課題の抽出

シスメックスは、2011年度に、社会的責任の国際規格であるISO26000を基にCSR活動の現状分析を実施し、対処すべきCSRの重点課題を抽出しました。

今後、この重点課題に基づいてCSR計画を策定し、CSRマネジメントを推進していきます。

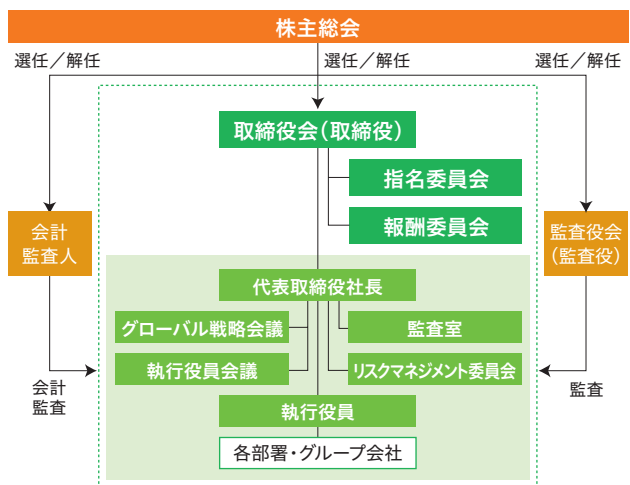
## コーポレート・ガバナンス

### 経営の健全性と透明性を高め、 経営効率を向上させるために

シスメックスは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題の1つとして位置づけています。経営の健全性と透明性を高め、経営スピードと経営効率を向上させることが、グループ全体の企業価値の最大化につながると考えています。

取締役会は取締役8名で構成し、経営に関する重要事項を審議しています。当社は監査役制度を採用しており、社外監査役2名を含む4名で構成する監査役会が、独立した立場から客観的に取締役の職務遂行を監視しています。また、業務執行の意思決定スピードをいっそう高め、事業環境の変化に迅速に対応できるよう、2005年4月から執行役員制度を導入しています。社長の意思決定のための諮問機関として執行役員会議を設置し、グループの業務全般の重要事項を審議しています。執行役員は14名で、うち取締役兼任が7名です。また、委員会設置会社と同様の役割を持つ指名委員会と報酬委員会も設置しています。

### コーポレート・ガバナンス体制



## 内部統制

### 内部統制システムの整備

シスメックスでは、2006年度に内部統制システムに関する取締役会決議に基づき、コンプライアンス、情報の保存・管理、リスク管理、効率的な職務執行、グループ会社管理、監査について体制を整備し、推進しています。

また、2008年度に「財務報告に係る内部統制管理規程」を制定するとともに、社長の諮問機関として「財務報告に係る内部統制委員会」を設置し、グループ全体の内部統制システムを構築し、適正な運用に取り組んでいます。

## 情報開示

### 株主総会・株主懇談会の開催

株主の皆様との直接対話の機会を大切にし、できるだけ多くの方々に総会に参加していただけるよう努めています。

また、総会後には例年株主懇談会を開催し、株主の皆様との対話を深めています。2011年度は、当社の活動をよりご理解していただくことを目的として、新製品「XNシリーズ」を会場に展示したほか、当社の製品をご使用いただいている施設の紹介やこれまでの社会貢献活動を説明するパネルの展示を実施しました。

一方、総会に参加することが難しい株主の皆様に対しては、郵送やインターネットで議決権を行使できるようにしています。このほか、総会の招集通知と決議通知の読みやすさにも配慮しています。いずれも海外の方のために英文版を作成しているほか、2011年度は、招集通知をカラー印刷とし、さらにWebでも閲覧できるようにしました。

### さらなる情報開示の充実を目指して

シスメックスでは証券取引に関する法令や証券取引所の定める適時開示規則などを遵守することはもとより、当社独自の基準を設け、投資判断に影響を与えると判断した情報を積極的に開示するよう努めています。

年2回の決算説明会(期末・第2四半期決算時)に加え、2011年3月期の第3四半期より、さらなる情報開示の充実を目指し、第1、第3四半期決算発表時に、カンファレンスコールを開催しています。

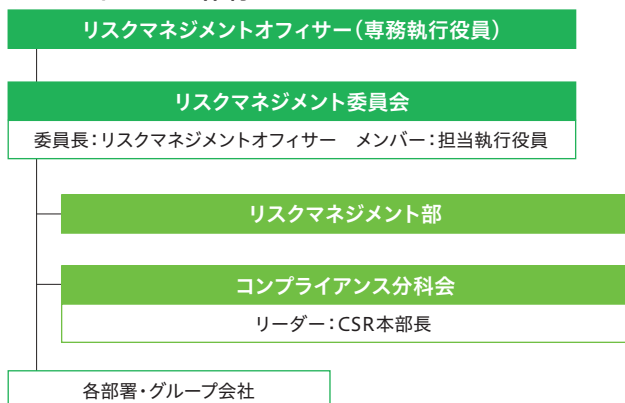
## リスクマネジメント

### 委員会を設置してリスクマネジメントを推進

グループ全体のリスクマネジメント活動を統括する組織として、最高責任者「リスクマネジメントオフィサー」(専務執行役員)を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置しています。同委員会において、各部門や関係会社が実施したリスク低減対策やモニタリング結果などを継続して確認しています。

2011年度には、東日本大震災の発生を受けて、災害発生時に製品やサービスの供給が途絶えることがないよう、サプライチェーン面やサービス面でのリスク低減対策をあらためて検討しました。現在、生産工場の耐震性のさらなる強化のほか、原材料の調達プロセス、社内ITインフラ、災害初動体制について、それぞれ見直しを実施しています。

### リスクマネジメント体制



## コンプライアンス

### 「正々堂々とした事業活動」を追求

シスメックスは、コンプライアンスを「法令遵守とともに高い倫理観にもとづいた正々堂々とした事業活動を行うこと」とであると定義しています。

この定義に基づいて、役員と従業員が遵守すべき特に重要なルールや行動のガイドラインをまとめた「コンプライアンスコード」を制定しています。同コードは英語、中国語、ドイツ語に翻訳して海外グループ会社にも適用しており、グループの全従業員から同コード遵守の誓約書を取得しています。

### コンプライアンス教育を継続して実施

国内では、グループ全従業員を対象としてコンプライアンス教育を実施しています。また、「コンプライアンスハンドブック」を作成し、全従業員に配布しています。さらに、毎年重要テーマを設定して全社教育を行うとともに、部門ごとに業務に関する法令についての教育を実施しています。なお、2011年度は、「腐敗防止」をテーマに全社教育を実施しました(詳細は25ページ参照)。

海外グループ会社については、アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジアパシフィックそれぞれの地域の統括会社にコンプライアンス責任者を設置して、コンプライアンスを推進しています。



コンプライアンス  
ハンドブック

### コンプライアンスコード※

- 1. お客様への安全と安心の提供**  
私たちは、全ての企業活動において、お客様への安全と安心の提供を優先して行動します。
- 2. 公正な取引と自由な競争の推進**  
私たちは、お客様をはじめとした全ての取引先と公平かつ公正に接し、適切な条件で取引を行います。また、同業他社との関係においては、相互間での不当な取引制限や相手を貶める不正な行為を行いません。
- 3. 公平・適正な情報開示と情報管理の徹底**  
私たちは、グループの経営状況や事業活動などの企業情報を、関連する法令等に従い、公平、迅速、正確に、かつわかりやすく開示するとともに、事業活動を通じて収集された営業秘密は、第三者に不利益を与えることのないように厳重に管理します。
- 4. 知的財産権の尊重**  
私たちは、第三者の知的財産権を尊重し、不正な方法で第三者の成果や営業秘密を入手したり、自らの業務に利用しません。
- 5. 国際的な平和と安全の維持**  
私たちは、輸出関連法令等を遵守し、国際的な平和と安全の維持を阻害する恐れのある取引には関与しません。
- 6. 適正な会計処理と納税の実施**  
私たちは、租税に関連する法令その他経理関連法令等を遵守し、常に適切な税務処理と適正な会計処理を行います。
- 7. 人権の尊重と安全・衛生の向上**  
私たちは、一人ひとりの基本的人権を尊重し、差別や嫌がらせ等の行為を行いません。また、職場の安全・衛生に努めるとともに、不当な労働を強制しません。
- 8. 私公のけじめと利益相反行為の禁止**  
私たちは、職務遂行において自己の利益を図ることはもちろん、グループの資産や物品ならびに情報などの不正利用や、グループの事業活動に不利益を及ぼす個人的な行為を行いません。
- 9. 社会との健全な関係の保持**  
私たちは、公的機関との取引ならびに政治献金を行う際は、関連する法令等を遵守し、常に厳正に対応します。また、反社会的な活動や勢力に対しては毅然とした態度で臨み、一切関係を持ちません。
- 10. 地球環境の保護**  
私たちは、環境関連法令等を遵守するとともに、環境に関する国際基準等にもとづき、事業活動全般において環境に配慮した取り組みを行い、地球環境の保護と向上に努めます。

2009年11月改定

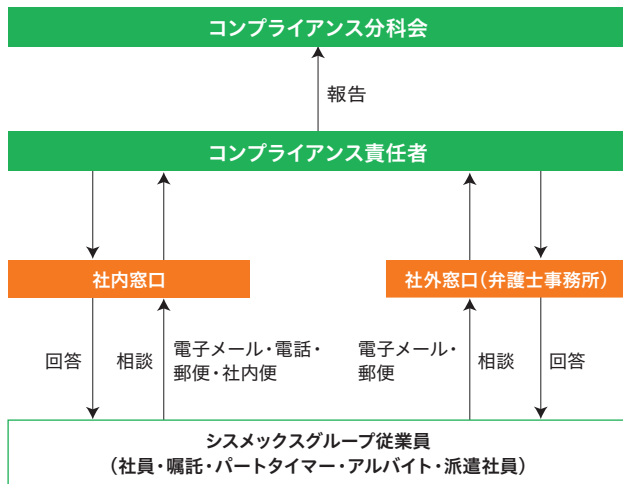
※ シスメックス(株)のコンプライアンスコードを掲載。海外グループ会社のコンプライアンスコードは、各地域の慣習の違いなどによって一部追加しています。

## 内部通報制度

国内グループ向けの内部通報制度「カンパニユライン」では、社内・社外の2つの窓口で、電話、郵便、電子メールによる相談や通報を受け付けています。寄せられた情報は匿名で取り扱い、相談・通報者の個人情報を守っています。

また、海外グループ会社でも内部通報制度の整備を進めています。

### 内部通報制度「カンパニユライン」



## ステークホルダーとの対話

### さまざまなステークホルダーとの直接対話を推進

シスメックスは、ステークホルダーの皆様と直接対話する機会を大切にし、いただいたご意見・ご要望を事業活動に活かしています。

### 2011年度の主な対話実績

お客様
<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域で顧客満足度調査を実施(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)</li> <li>学術セミナーを各地域で開催(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)</li> <li>お客様のフィードバックを取り入れたカスタマートレーニングプログラムを各地域で継続的に実施(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)</li> </ul>
従業員
<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員を対象とした自己申告制度により、海外勤務の希望の有無や職種の変更を含むキャリア設計に関する希望を調査し、人事ローテーションを行うための情報として活用(シスメックス(株))</li> <li>労働組合との協議会などを年間30回以上開催し、人事制度、時間管理、その他ワークライフバランスや健康増進支援など労働環境改善に向けた取り組みを推進(シスメックス(株))</li> </ul>
取引先
<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年2月、調達先に事業の方向性などを説明する購買方針説明会を開催。225社、397名の方が参加(シスメックス(株))</li> </ul>

## 外部からの評価

### 持続可能性への評価

持続可能な社会の実現に向け、経済的観点だけでなく、環境や社会的公正性といった観点から一定以上のパフォーマンスを示している企業を評価・選別する社会的責任投資(SRI: Social Responsibility Investment)が注目されています。シスメックス(株)は世界的なインデックス(指標)である「FTSE4Good Global Index」※1の構成銘柄に2008年から継続採用されています。また、2011年度には、ベルギーのSRI評価団体フォーラム・エティベルから「Ethibel Pioneer & Ethibel Excellence」※2に選定されました。

このほか、2011年度には、カナダの出版社コーポレート・ナイツ社やアメリカの通信・放送社ブルームバーグ社などが共同で選定する「世界でもっとも持続可能な100社(Global 100)」※3にも選出されました。

※1 「FTSE4Good Global Index」: 英国フィナンシャル・タイムズ紙とロンドン証券取引所の共同出資会社、英国FTSE社が開発・管理しているSRIインデックス。

※2 「Ethibel Pioneer & Ethibel Excellence」: 人権尊重や環境配慮といったCSR上の課題において、一定以上のパフォーマンスを示している企業を選出した株式銘柄群。

※3 「世界でもっとも持続可能な100社」: 全世界のあらゆる事業分野の企業3500社を対象として企業価値を評価し、持続可能性の高い企業として上位100社を選出するランキング。



### 株主・投資家

- 株主総会後に懇談会を実施(シスメックス(株))
- 国内外の機関投資家・アナリスト向けの個別インタビューを計300社以上に対し実施(シスメックス(株))
- 2011年10月、研究開発拠点「テクノパーク」にて個人株主向けの見学会を実施(シスメックス(株))
- 2012年1月、神戸ポートピアホールにて個人投資家向けの会社説明会を開催。515名の方が参加(シスメックス(株))

### 地域住民

- 研究開発拠点「テクノパーク」で地域交流イベント「テクノパークフェスタ2011」を開催(シスメックス(株))
- 高校生向け理数系教育イベント「第4回サイエンスフェアin兵庫」に参加(シスメックス(株))
- 米州でNPOの活動の一つである「エイム・ハイ・アーバン・メンタリング・イニシアティブ」に参加し、地元高校生のアドバイザーを実施(シスメックス・アメリカ)
- 欧州でクリスマスにチャリティーのくじ引きイベントを開催(シスメックス・ヨーロッパ)

# 多様な人材が生き活きと働ける環境を提供

シスメックスは、コンプライアンスコードにおいて差別の禁止と不当労働の排除を定め、その遵守徹底を図るとともに、公平な雇用・処遇に努めています。また、多様な人材一人ひとりが自らの能力を伸ばしながら生き活きと働ける制度や職場環境の提供に注力しています。

## 人権・多様性の尊重

### コンプライアンスコード(抜粋)

#### 7. 人権の尊重と安全・衛生の向上

私たちは、一人ひとりの基本的人権を尊重し、差別や嫌がらせ等の行為を行いません。また、職場の安全・衛生に努めるとともに、不当な労働を強制しません。

##### 7-1 差別および嫌がらせ等の禁止

性別、年齢、国籍、人種、民族、信条、宗教、社会的身分、門地、疾病、障害などに関する差別的言動、ならびにセクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人格を無視する行為を行ってはならない。

##### 7-2 プライバシーの尊重

個人の多様な価値観を認めあうとともに、一人ひとりのプライバシーを尊重し、知り得た個人情報のみだりに話したり、不必要に知ろうとしてはならない。

##### 7-3 強制労働・児童労働の排除

強制や意思に反しての不当な労働を強制してはならない。また、各国・地域の法令等に定める雇用最低年齢に満たない児童を就業させてはならない。

##### 7-4 職場の安全・衛生の確保

誰もが安心して働けるよう、安全・衛生関連法令等を遵守するとともに、心身の健康の維持向上に取り組み、安全で快適な職場づくりに努めなければならない。

## 差別や不当労働を排除するために

シスメックスは、コンプライアンスコードの「7.人権の尊重と安全・衛生の向上」において、基本的人権を尊重する上で遵守すべき特に重要なルールや行動のガイドラインを定めています。

同コードには、あらゆる差別的取扱いを行わないこと、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどの人格を無視した行為をしないこと、児童労働・強制労働を強制しないこと、安全で快適な職場環境を確保することを明示しています。

## 人権に関する相談・通報制度

シスメックスでは、国内グループ会社向けに内部通報制度「カンパニユライン」を設置するとともに、海外グループ会

社でも内部通報制度の整備を進めています。これらの通報窓口で、セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントに関する相談をはじめとする人権相談を受け付けています。(詳細は14ページ参照)。

## 障がい者雇用を推進

シスメックス(株)は、障がい者の方の雇用を進めています。それぞれの適性や能力を活かして、長期的に活躍できる雇用形態で就業いただいています。

2012年1月現在の障がい者雇用率は、法定雇用率1.8%を超える1.99%です。雇用率2.0%を目標に、取り組みを強化しています。

## 高齢者雇用——定年退職者再雇用制度

シスメックス(株)では定年を60歳とし、高齢者雇用を推進するための制度として65歳までの定年退職者再雇用制度を運用しています。

2011年度には、定年退職者のうち社内ルールに基づく再雇用を希望した者9名全員を再雇用しました。

## 定年退職者再雇用の状況(シスメックス(株))

	2009年度	2010年度	2011年度
再雇用希望者(人)	11	8	9
再雇用者(人)	11	8	9
再雇用率(%)	100	100	100

## ブラジルのグループ会社が、SA8000<sup>※1</sup>とOHSAS18001<sup>※2</sup>の認証を取得

シスメックス・ブラジルは、労働者の基本的人権の保護に関する国際規格SA8000<sup>※1</sup>の認証を取得しています。

また、労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な規格であるOHSAS18001<sup>※2</sup>の認証も取得しています。

<sup>※1</sup> SA8000:国際労働機関(ILO)の諸条約や、「世界人権宣言」、「国連子どもの権利条約」に基づいて米国のCSR評価機関が策定した規格。

<sup>※2</sup> OHSAS18001:1996年にイギリス規格協会(BSI)が発行した規格BS8800をもとに、約30の各国審査登録機関、標準団体などが集まって1999年に発行された規格。



## 評価・処遇

### 能力・成果に基づく公平な人事評価

シスメックス(株)は自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会を提供するとともに、公正な処遇に努めています。

公正な処遇のベースとなる評価については、「企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いる」という考え方にに基づき、成果のみの評価ではなく、成果発揮にいたるプロセスの評価(コンピテンシー評価)も行っています。また、公平かつ納得性のある人事評価を目指し、評価結果、上司コメントを各個人に開示しています。

#### 人材マネジメントシステムの考え方

1. 長期的な雇用を実現するために
  - ・多様な人材が安心して能力を発揮できる複線型の資格等級フレームを整備し、自己実現と成長の機会を提供
2. 多様な人材の能力開発・育成を推進するために
  - ・コンピテンシーを基軸とする資格等級基準を設定し、昇格基準の明確化による人材育成と昇格運用の適正化を促進
  - ・成果のみではなく、成果発揮に至るプロセス(発揮能力)を評価し、人材育成と企業風土の変革を促進
3. 企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いるために
  - ・評価と報酬の関係をシンプルにし、誰にでも分かりやすい制度
  - ・仕事の貢献度・役割・発揮能力(コンピテンシー)および成果に連動したメリハリのある報酬体系

### 従業員の将来のキャリア設計をサポート

シスメックス(株)では、将来のキャリア設計について全社員を対象とした「自己申告制度」を運用し約90%が申告しています。

これによって、一人ひとりに自己のキャリアの方向性とライフプランについて考える機会を持ってもらうとともに、申告内容を能力開発や人材配置に活用しています。2011年度には、中長期のキャリアを検討できるような設問を追加したり、海外勤務希望関連の設問を具体化するなど、従来よりも一層きめ細かく希望を収集できるように申告シートを改善しました。

### 就職機会の均等化を目指して

シスメックス(株)では、性別・国籍・人種・年齢・職歴・障がいの有無を問わず、人物本位で採用を実施しています。具体的には、就職が不利な状況に置かれている既卒学生や海外留学生などに対する就職機会の均等を図るために、いつでも応募できる通年採用を実施し、2011年度は新卒採用の約15%にあたるポテンシャル人材を採用しました。また、世界中のどこからでも応募できるように海外や国内の地方に在住する応募者のためにインターネットを通じたWeb説明会やWeb面接を実施し、2011年度は新卒採用の約10%に相当する外国人を迎え入れました。

### 契約社員・派遣社員の正社員登用

シスメックス(株)は、派遣社員や嘱託など、契約社員の正社員登用にも積極的に取り組んでいます。契約期限が限られている有期雇用者に対しても、公平に登用機会を提供することを社内規程において明文化するとともに、イントラネットなどで周知徹底を図っています。

また、派遣社員に対しては、個別契約を更新する際、一定の条件を満たしている対象者に直接雇用への切り替えを検討してもらおうよう派遣会社へ案内しています。

これらの取り組みを継続的に実施してきた結果、2011年度には、契約社員・派遣社員あわせて23名を正社員として登用しました。

### 正社員への登用実績(シスメックス(株))

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績
契約社員	4名	13名	10名
派遣社員	6名	10名	6名
計	10名	23名	16名

※ 2012年度4月1日現在

## 仕事と家庭の両立支援

### 子どもの育児・看護を支援

シスメックス(株)は、親子ができるだけ長く一緒に過ごせるよう、休暇・勤務時間短縮制度をはじめとして、育児のための多様な制度を制定しています。また、子どもの看護のために会社を休む際、積立有給休暇を利用できる制度も導入しています。2011年度からは、取得可能期間も「子どもの小学校就学前」から「中学校就学前」に延長しました。さらに、育児を理由にキャリアを中断した従業員に再び働く機会を与える再雇用制度も設けています。

これらの支援制度は、イントラネット上の専用サイトでわかりやすく解説しています。

### 社内託児所を設置

シスメックス(株)は研究開発拠点「テクノパーク」内に、従業員から乳幼児を預かる社内託児所「シスメックスキッズパーク」を設置しています。

常時保育だけでなく、配偶者が非常勤で働いている場合や、



社内託児所「シスメックスキッズパーク」

### 仕事と家庭の両立支援制度の利用状況(2012年3月末現在)

制度	制度	人数
育児のための勤務時間短縮制度	子どもが小学校3年生を終えるまで利用可能。	利用者26名
休業制度(育休・産休)	育児休業は法定の1歳を超えて2歳まで取得可能。	利用者43名
積立有休制度	家族の看護や介護のために、失効した年次有給休暇を最大10日まで積み立て、利用できる制度。	利用者5名
再雇用制度	育児や介護のために退職した従業員を再雇用する制度。	利用者0名 登録者9名
社内託児所	育児を0歳児から小学校就学前までの乳幼児を預けられる託児所。常時保育だけでなく、一時的な利用も可能。	利用児童26名

保護者の疾病、弔事などにより家族での保育が困難なときなどに一時的に利用することも可能です。2012年3月末時点で、26名を常時保育で受け入れています。

### 働きやすい職場に向けて制度を充実

シスメックス(株)では、育児以外にも、あらゆる観点から、従業員のワークライフバランスを実現する制度を整備しています。

親や家族の病院受診や入院付添いのために、積立有給休暇を利用することができます。また、介護でキャリアを中断する従業員に対しては、再雇用制度を適用しています。

このほか、従業員の多様なニーズに応じた福利厚生を選択できるように、カフェテリアプランを導入しています。

### 次世代認定マークを取得

従業員が仕事と家庭を両立できるよう支援する制度を計画的に整備してきたことが認められ、シスメックス(株)は2011年度に厚生労働省から次世代認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しました。



次世代認定マーク「くるみん」

## 労使の協調

### 協力して働きやすい職場づくりを推進

シスメックス(株)の労働組合であるシスメックスユニオンには、正社員のうち、役職者や管理部門の一部を除く全員が加入しています。当社とシスメックスユニオンは協力してワークライフバランスを確保するための制度整備などに取り組んでいます。

## 健康と安全への配慮

### 心身の健康の維持・向上

シスメックス(株)では、定期健康診断に加え、人間ドックや女性がん検診などを実施し、疾病の早期発見に努めています。健康相談は全社的な窓口を設け、産業医、保健師と面談できる体制を整えています。また、メンタルヘルスは、専門の産業医による専門窓口や外部相談機関(EAP)を設置し、従業員が気軽に相談できる体制を整えています。

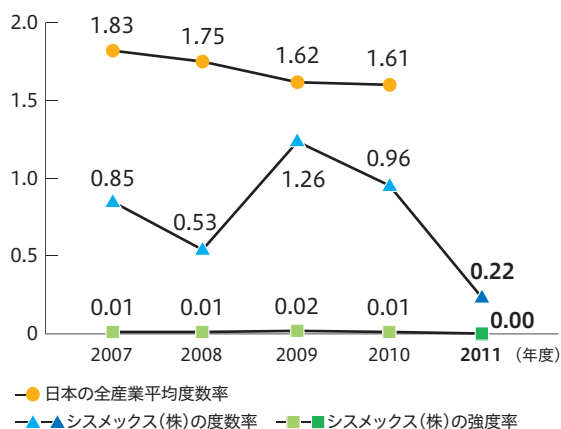
2011年度は、メタボリック対策として社内で特定保健指導を実施し、栄養士から生活改善指導を受けるなど、従業員の疾病予防対策にも取り組んでいます。

### 安心して働ける職場づくり

シスメックス(株)は、従業員の安全衛生を確保するための指針として「安全衛生規程」を定めるとともに、事業所ごとに安全衛生委員会を設置し、安心して働ける職場づくりに努めています。事故時の応急措置や退避方法、危険性のある機械や原材料の取り扱い方、AED(自動体外式除細動器)の取り扱い方などについて教育を実施しているほか、市民救命士の育成にも取り組んでいます。

また、地震や火災などに備えて、地元の消防署と連携しながら避難訓練や消火訓練、通報訓練を実施しています。

労働災害度数率/強度率(シスメックス(株))



注) 労働災害度数率: のべ労働100万時間あたりの死傷者数の割合。  
労働災害強度率: のべ労働1,000時間あたりの労働損失日数の割合。

## 人材育成

### グローバルな人材の育成に注力

シスメックス(株)では、従業員の能力開発や人が育つ環境づくりを目的として、人材開発体系に基づく全社員の継続的、計画的な能力・スキルの引き上げ、マネジメント力強化およびグローバルなビジネスの中核を担うグローバル人材の育成に注力しております。

2011年度には、英語によるビジネススキルの習得、異文化理解の向上を目的とした社内外国人講師による「ビジネス英語研修」を開始しました。

さらに、若手社員層を対象として、海外現地法人へ派遣し実務経験を積ませる「グローバルアプレントイスプログラム」を導入しました。このプログラムは、グローバルなキャリアを志望する社員を社内公募し、早期に海外業務経験の機会を提供することにより、将来のグローバルコア人材へと育成することを目的としています。



グローバルアプレントイスプログラムで海外現地法人に派遣された従業員  
(上中央) 経営管理本部 天野 弘毅さん(アメリカの現地法人にて)  
(下左) 国内事業推進本部 栗栖 紫乃さん(ドイツの現地法人にて)

# 長期環境目標達成に向けて、環境活動を推進

シスメックスは、「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」において地球温暖化対策、資源の有効利用と廃棄物の削減、水資源の有効利用などに関する長期環境目標を設定し、その達成に向けて取り組んでいます。

## 環境マネジメント

### 環境方針

私たちは、ヘルスケア分野にかかわる企業として、地球環境保全活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

### 行動基準

1. 環境保全を重視した事業活動を行い、社会の全ての皆様に安心をお届けします。
2. 製品のライフサイクルの各段階において、環境への影響を考慮し、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
3. すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、化学物質の適正管理に努めます。
4. あらゆる国または地域の適用される環境に関する法令、規制、協定などを遵守します。
5. 環境保全活動の継続的な改善を行い、汚染を予防し、私たちの製品が環境に与える影響を最小限にするように努めます。
6. 環境教育・啓発を通じて環境意識の向上を図るとともに、地域・社会の一員として環境保全活動を通じた社会貢献に取り組みます。
7. 環境方針から環境目的・目標を設定し、計画的に目標達成に取り組みます。

2009年5月改定

## 環境活動の推進

シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、シスメックス(株)のCSR担当執行役員を最高責任者とする「環境管理委員会」において、方針・計画の策定、計画の進捗管理、実績の評価などを実施しています。

シスメックスは、2010年度に「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」を策定しました。この中で定めた長期環境目標の達成に向けて、継続して環境負荷低減に取り組んでいます。

また、国内外の主要なグループ会社に環境に関する責任者を設定し、グループ全体の環境活動やパフォーマンスデータを把握できる体制を構築しています。

## ISO14001の認証を取得

シスメックスでは、グループ全体で環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の取得を進めています。

2011年4月から2012年4月までに、新たに4拠点が認証を受けました。これにより、工場について国内はすべて、海外は7拠点のうち5拠点、累計で17拠点で取得を完了しました。さらに、シスメックス・無錫、シスメックス・済南が、認証取得を目指して取り組んでいます。

### ISO14001認証取得状況

会社名	事業所	取得時期
シスメックス	加古川工場	2000年4月
	テクノパーク	2002年2月
	本社	2002年2月
	ソリューションセンター	2005年11月
シスメックス国際試薬	小野工場	2001年3月
	西神工場	2007年6月
シスメックスメディカ	—	2001年3月
シスメックスRA	—	2008年6月
シスメックス・ヨーロッパ	ノイミュンスター工場	1999年11月
	本社	2011年10月
シスメックス・ドイツ	—	2011年10月
シスメックス・ブラジル	—	2006年5月
シスメックス・アメリカ	—	2009年12月
シスメックス・リージェンツ・アメリカ	—	2009年12月
シスメックス・ニュージーランド	—	2011年5月
シスメックス・インド	—	2012年3月
シスメックス・アジアパシフィック	—	2012年4月

## 環境監査

2011年度、シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、法規制の「順守評価」、「内部環境監査」、さらに、外部審査機関による「外部環境監査」を実施しました。

内部環境監査では4件、外部環境監査では3件の不適合が見つかりましたが、それぞれは正対応を完了しています。



外部環境監査

## シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)

シスメックス・エコビジョン2020の 長期環境目標(2020年度)		2011年度の活動・実績
地球温暖化 対策	検体検査機器の消費電力25%削減 (従来機種比)	・消費電力削減に向けた開発の推進。
	事業所における温室効果ガス排出量 50%削減(連結売上高原単位)	・屋上防水工事、遮熱フィルター貼付工事の実施。(西神工場) ・パソコンの省電力モード設定の徹底、空調の室温管理の徹底、窓ガラスへの熱遮断シート貼付、こまめな消灯など省エネの取り組みを実施。 ・電力購入先を、再生可能エネルギーで発電した電力のみを供給する電力会社に変更。 (シスメックス・ヨーロッパ) ・太陽光発電装置を年間通じて稼働、2011年度は約11万kWhで全体の25%をカバー。(シスメックス・ヨーロッパ ノイミュンスター工場)
	・物流における国内CO <sub>2</sub> 排出量 11%削減(単体売上高原単位) ・物流におけるグローバルCO <sub>2</sub> 排出量 の削減目標の設定	・航空便使用率の高いインドネシア向けの輸出について、航空便から海上輸送へのモーダルシフトを開始。
	国内社用車におけるCO <sub>2</sub> 排出量 50%削減(国内売上高原単位)	・支店・営業所でエコドライブ研修やエコドライブコンテストを実施。 ・低燃費車およびハイブリッドカーの導入促進。
資源の 有効利用と 廃棄物の削減	・製品の容器包装・輸送梱包材 15%削減(単体売上高原単位) ・製品の容器包装・輸送梱包材 グローバル目標の設定	・検査装置「XNシリーズ」に使われる梱包材(7品目)について、重量を平均18%削減。
	事業所における廃棄物等排出量 15%削減(連結売上高原単位)	・生ごみ処理機の導入。(小野工場)
	・国内:全対象事業所でリサイクル率 99%以上を達成 ・海外:全対象事業所でリサイクル率 95%以上を達成	・廃棄物処理業者の見直しなどを実施。 ・使用済み試薬ビンのリサイクル化を開始。
水資源の 有効利用	事業所における水使用量30%削減 (連結売上高原単位)	・純水製造装置の効率化を推進。
その他	脱動物由来原料製品の開発	・試薬に使用する主要原料について、動物由来原料から人工的に作成したタンパク質に切り替えるための開発を推進。
	紙バック試薬容器の開発	・検査装置「XNシリーズ」と組み合わせて使用する紙バック製試薬の発売を開始。
	環境配慮型設計ガイドラインの 策定と運用	・REACH規則およびその他規制で使用が制限(禁止、低減)されている化学物質の取り扱いに関するルールを環境設計ガイドラインで明確化。
	主要サプライヤーのEMS構築率100%	・ISO14001または簡易版の環境マネジメントシステムの認証の取得促進。(76%、84社中64社取得) ・調達先220社に対して環境マネジメントシステム対応、環境保全活動の取り組みについての調査を実施。
	対象事業所における ISO14001認証取得	・シスメックス・ヨーロッパ、シスメックス・インドア、シスメックス・アジアパシフィックでISO14001の認証を取得。
	環境に配慮したサービスモデルの推進	・アジア地域のSNCS加入施設の拡大推進。
	ライフサイクルアセスメント(LCA)の推進	・新製品である検査装置「XNシリーズ」と従来製品のCO <sub>2</sub> 排出量を比較したLCAを実施。

## 地球温暖化対策

### 事業所での温室効果ガス排出量削減

事業所における温室効果ガス排出量を削減するために、各事業所でさまざまな活動を進めています。これにより、2011年度の温室効果ガス排出量(売上高原単位)は、前年度比で約16%削減しました。

国内の工場では、生産設備の省力化などの生産効率向上策に取り組んでいます。また、工場を含む各事業所で、室温管理の徹底、熱遮断シートの貼付、こまめな消灯など、それぞれの事業所の特性にあった省エネ対策を実施しています。



テクノパークでは電力監視モニターを導入し、施設全体の電力使用状況を監視

### 物流におけるCO<sub>2</sub>排出量削減

物流工程でのCO<sub>2</sub>排出量についても、取り組みを進めています。国内物流においては、物流センターを集約して輸送ルートの変更などを行い効率化を図った結果、2011年度の国内輸送におけるCO<sub>2</sub>排出量は、前年度比で約8%削減しました。

また、日本から海外各地域への輸出では、日本からインドネシアへの機器輸送の約9割を航空便から船便に変更するなどの取り組みを展開し、2011年度の海外輸送におけるCO<sub>2</sub>排出量は前年度比で約19%削減しました。

	2010年度	2011年度
国内輸送	1,369 t-CO <sub>2</sub>	1,256 t-CO <sub>2</sub>
海外への輸送	4,031 t-CO <sub>2</sub>	3,279 t-CO <sub>2</sub>

### 国内社用車のCO<sub>2</sub>排出量削減

約400台ある国内の社用車からのCO<sub>2</sub>排出量を削減するために、支店・営業所においてエコドライブ研修やエコドライブコンテストを実施し、啓発を進めています。

また、低燃費車やハイブリッドカーの導入を進めており、2011年度には、低燃費車14台、ハイブリッドカー7台を導入しました。ただし、活動量の増加により2011年度の排出量(売上高原単位)はほぼ前年度並みとなりました。



エコドライブ研修

### 検体検査機器の消費電力削減

シスメックスでは、お客様先での省エネルギーに貢献するため、消費電力のさらなる低減を目指した検体検査機器の開発を進めています。

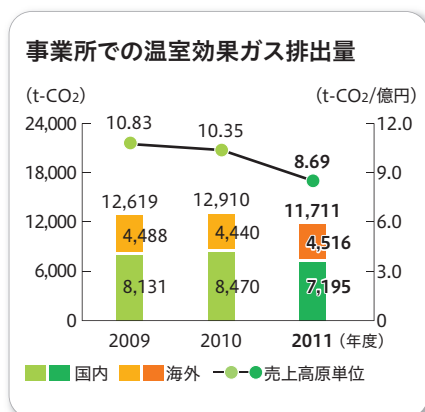
## 資源の有効利用と廃棄物の削減

### 製品の容器包装・輸送梱包材削減

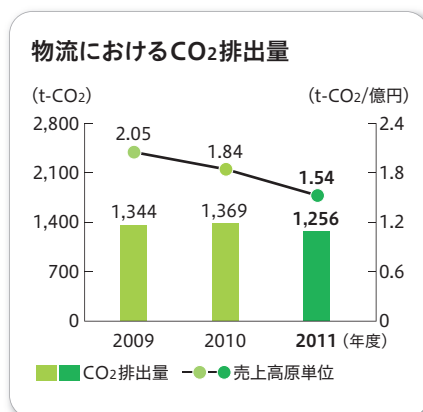
機器や試薬、修理用部品などの容器包装や梱包材の軽量化などに取り組み、使用量削減を図っています。2011年度は、発売した検査装置「XNシリーズ」の付属品に使用している梱包材の軽量化を図り、従来品より約18%削減しています。

### 事業所での廃棄物の削減

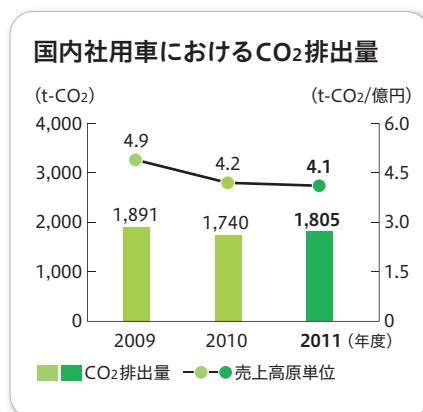
2011年度は、テクノパークやシスメックス国際試薬の西神工場において廃棄物処理業者の見直しを実施するなど、リサイクル率向上のための取り組みを実施しました。



注) 集計範囲については、24ページをご覧ください。



注) 集計範囲は、国内工場から各販売店までの物流CO<sub>2</sub>。



注) 集計範囲については、24ページをご覧ください。

また、社員食堂など生ごみや廃油の多く出る事業所での生ごみ処理機の活用を進め、2011年度は、シスメックス国際試薬の小野工場にも生ごみ処理機を導入しました。しかしながら、事業所のリニューアル工事などによって、2011年度の廃棄物総排出量(売上高原単位)は、前年度比で約3%増加しました。



生ごみ処理機

## 水資源の有効利用

### 事業所での水使用量削減と適切な排水処理

シスメックスでは、純水製造装置の使用効率を高めることによって水使用量削減に取り組んでいます。しかしながら、主に海外で試薬の生産量が増加したため、2011年度の水使用量(売上高原単位)は、前年度比で2%増加しました。

このほか、設備の運用効率の改善と安全性の向上のため、加古川工場の「排水処理システム」を更新しました。本システムによって、水の汚染を表す指標の一つであるBOD(生物化学的酸素要求量)をリアルタイムで測定し、基準以上の排水を行わないよう設備をコントロールしています。



排水処理システム

## 環境負荷物質の削減

### 法規制への対応

2011年7月に改正RoHS指令※が発効し、これによって当社の製品では2014年7月から科学計測機器に、2016年7月から

検体検査機器や動物用検体検査機器に同指令が適用されることとなりました。シスメックスでは、この改正RoHS指令に適合できるよう、欧州へ出荷している製品に対して、設計および製造工程などの見直しを進めています。

※ RoHS指令: EU(欧州連合)で販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生原因となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

### 感染性物質の厳重な管理と適切な処理を徹底

シスメックス国際試薬では製品の原材料として、テクノパークでは研究開発の実験材料として、生物由来の物質を取り扱っています。これらは感染の危険性があるため、万が一に備え、マニュアルに基づいて保管・使用場所を制限するなど厳重に管理するとともに、一般廃棄物とは厳格に分別して適切に処理しています。

## その他

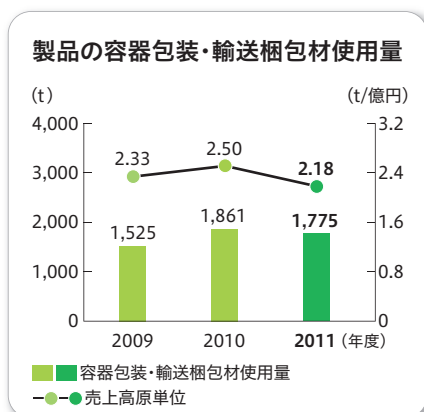
### 調達先の環境マネジメントシステム構築支援

シスメックスでは、ISO14001や地域行政が推奨する環境マネジメントシステム規格について調達先での認証取得を促しています。2011年度末時点で、主要調達先84社中64社が、ISO14001または簡易版の環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

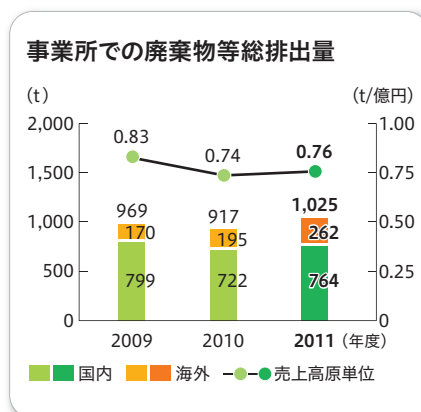
また、2011年度は、調達先220社に対して環境マネジメントシステム対応状況と環境保全活動の取り組みについて調査し、重大な環境問題が発生していないことを確認しました。

### グリーン調達

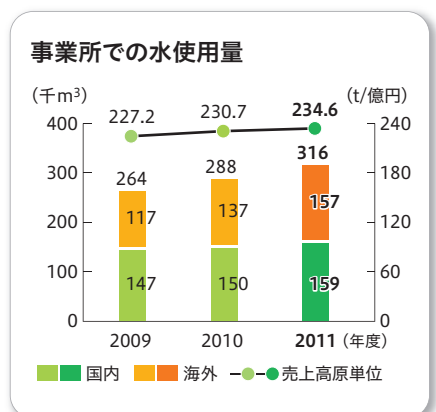
調達活動における環境配慮への基本的な考え方として「グリーン調達基準」を制定しています。



注) 集計範囲については、24ページをご覧ください。



注) 集計範囲については、24ページをご覧ください。



注) 集計範囲については、24ページをご覧ください。

また、製品に含まれる環境負荷物質を削減するために、「グリーン調達基準」に加えて、製品への使用を制限・削減する化学物質についてもWebサイトで公開し、部品・材料の調達先にご協力いただいています。

### グリーン調達基準(抜粋)

#### 1. 目的

シスメックスグループが、地球環境保全を進めることにより企業の社会的責任を果たすという環境基本方針を基に、環境に配慮した製品づくりを推進するため、地球環境への負荷が少ない原材料・部品の調達を推進し、環境保全活動に積極的なサプライヤーと共に持続可能な社会の発展を目指すことを目的に制定する。

#### 2. グリーン調達の方針

調達活動における、当社製品の環境負荷を低減することはもとより、サプライヤーも含めた生産活動を通じた環境負荷を低減するため『グリーン調達』を実施する。グリーン調達の具体的な取組みとして、以下の2項目を推進する。

- 1) 環境負荷が少ない原材料、部品の調達を推進する。
- 2) 環境保全に積極的なサプライヤーとの取引を拡大する。

### 環境に配慮したサービスモデル

シスメックスはカスタマーサポートセンターの充実を図るとともに、SNCS(詳細は28ページ参照)によるお客様との双方向ネットワークをグローバルに構築し、検査装置のダウンタイムの最小化を図っています。

これによってシスメックスの担当者がお客様先を訪問する頻度を減らすことができ、社用車のガソリン使用量やCO<sub>2</sub>排出量の抑制につなげています。

### 環境にも配慮した診断薬原料生産手法を確立

シスメックスでは、一部の診断薬の原料であるタンパク質に関して、カイコを用いて生産する手法を確立しました。

従来これらのタンパク質は、哺乳類由来の細胞をコンピュータ制御のタンクで培養する手法で生産していたため、多くのエネルギーを消費していました。一方、カイコは常温飼育が可能であり、棚と飼育容器を用意して餌を与えるだけでよい。省エネルギーや廃棄物削減が期待できます。



タンパク質生産に用いられるカイコ

### 海外拠点での活動

#### 環境に配慮した工場【中国】

シスメックス・済南では、屋上緑化などを取り入れた環境配慮型工場の建設を進めています(2012年稼働予定)。

#### 水のリサイクル【インド】

シスメックス・インドでは、工場排水をすべて工場内の緑地へ引いて再利用し、水使用量を削減する取り組みを行っています。

#### ISO14001の取得【ドイツ、シンガポール、インド】

シスメックス・ヨーロッパ、シスメックス・アジアパシフィック、シスメックス・インドでISO14001の認証を取得しました。シスメックス・無錫、シスメックス・済南でも取得を目指しています。

#### 自然エネルギーの活用【ドイツ】

シスメックス・ヨーロッパでは、ノイミュンスター工場に導入した太陽光発電装置を活用することで、2011年度、工場全体の約25%に相当する11万kWhを発電しました。また、再生可能エネルギーで発電した電力のみを供給する電力会社に購入先を変更しました。












ノイミュンスター工場に導入した太陽光発電装置

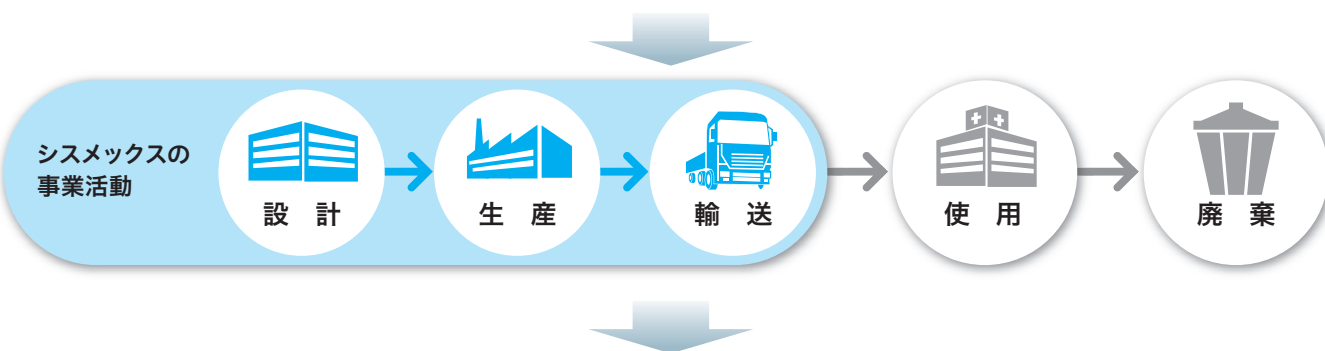


# 事業活動にともなう環境負荷

対象期間：2011年4月1日～2012年3月31日

## INPUT

エネルギー		OA紙	
 電力	25,935 千kWh	 OA紙	70.1 t
 燃料(都市ガス)	801.0 千Nm <sup>3</sup>	<b>PRTR対象物質</b>	
 燃料(LPG)	17.6 t	 PRTR※管理対象化学物質取扱量	9.1 t
 燃料(灯油)	57.9 kl	<b>容器包装・梱包材量</b>	
 燃料(社用車ガソリン)	774.4 kl	 製品の容器包装・梱包材量	1,775 t
		<b>水</b>	
		 水使用量	316 千m <sup>3</sup>



## OUTPUT

温室効果ガス		廃棄物	
 事業所温室効果ガス排出量	11,711 t-CO <sub>2</sub>	 廃棄物等総排出量	1,025 t
 社用車CO <sub>2</sub> 排出量	1,805 t-CO <sub>2</sub>	 リサイクル量(リサイクル率)	910 t (88.7%)
<b>PRTR対象物質</b>		<b>水</b>	
 PRTR※管理対象化学物質排出量・移動量	0.6 t	 排水量	129 千m <sup>3</sup>

**国内・海外** 国内・海外グループ会社の工場と主要事業所

シスメックス株式会社 / シスメックス国際試薬株式会社 / シスメックスRA株式会社 / シスメックスメディカ株式会社 /  
 Sysmex America, Inc. / Sysmex Reagents America, Inc. / Sysmex do Brasil Industria e Comercio Ltda. /  
 Sysmex Europe GmbH (Neumuenster Factory) / 希森美康医用電子(上海)有限公司 / 済南希森美康医用電子有限公司 /  
 希森美康生物科技(無錫)有限公司 / Sysmex Asia Pacific Pte Ltd. / Sysmex India Pvt. Ltd.

**国内** 国内グループ会社の工場と主要事業所

シスメックス株式会社 / シスメックス国際試薬株式会社 / シスメックスRA株式会社 / シスメックスメディカ株式会社

※ PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略。有害性のある化学物質が、どのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、廃棄物に含まれて構外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する制度です。

## 公正な事業慣行

# パートナー企業とともに公正な事業活動を追求

シスメックスでは、公正な事業活動を実現するために、腐敗防止や研究倫理の遵守などを徹底しています。また、バリューチェーン全体でCSR活動を推進するために、調達先や販売代理店などのパートナー企業との良き関係づくりに努めています。

## 腐敗防止

### プロモーションコードのもと、活動を推進

シスメックス(株)は、賄賂などの不適切な行為を防止し、取引の公正性を確保するための行動基準として「シスメックスプロモーションコード(SPC)」を制定しています。また、2008年度に設置した「公正な取引推進委員会」では、継続して教育指導と調査を実施し、従業員の意識向上に努めています。

なお、2012年4月には、医療関係者への飲食や娯楽などの提供に関する運用ルールを新たに追加するSPCの改定を行いました。

### 腐敗防止のための教育研修

シスメックスは、グローバルコンパクトの10原則の一つ「強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む」の実践に努めています。

2011年度は、英国贈収賄禁止法や米国の海外腐敗行為防止法の成立にみられる世界規模での贈収賄規制の強化や、国内での医療機関と医療業界の関係についての規制強化を踏まえ、「腐敗防止」をテーマとした教育を展開しました。

外部講師を招いて役員向けセミナーを開催したほか、外国公務員と関係のある業務を担う従業員を対象とする教育や、全従業員を対象としたeラーニングも実施しました。

### 2011年度に実施した腐敗防止に関する教育

<b>役員セミナー(反贈賄の世界的潮流と対策)</b>
実施日: 2012年1月 参加者: 社長、執行役員、監査役他、26名
<b>eラーニング「公務員との関係」</b>
実施日: 2011年10月~12月 受講者数: 従業員 1,669名
<b>外国公務員との関係に関する教育</b>
実施日: 2012年2月 受講者数: 従業員 103名



外国公務員との関係に関する教育

## 安全保障貿易

### 安全保障貿易の管理体制を整備

シスメックスは、1997年度に「安全保障貿易管理規程」を制定し、安全保障貿易管理体制の強化に努め、輸出先や使用用途の確認を徹底しています。

国内では安全保障貿易管理担当者を各部門に配置し、自部門の管理強化や従業員教育を実施しています。

## 財産権の尊重

### 他社の知的財産権侵害の防止に注力

シスメックスは、知的財産管理に注力し、自社の知的財産権の保護と活用、他社の知的財産権の侵害防止に努めています。新製品の開発プロジェクトごとに、自社の知的財産を確保するための出願活動や第三者の知的財産情報のパテントレビューを実施しています。その中で知的財産部門の担当者と研究開発者をメンバーとする「出願検討会」を開催して、開発中の技術に関して特許出願の方針、計画を立案しています。また、第三者の知的財産権を調査し、知的財産に関わるリスクを低減しています。2011年度の特許出願件数は、日本101件、海外230件で、特許保有件数(2011年度末)は、日本546件、海外812件です。また、環境関連の特許出願件数は6件となっています。

なお、2011年度には、特許庁長官との懇談会を開催し、シスメックスのグローバル戦略、模倣試薬への対応や特許庁の国際知的財産戦略について幅広く意見交換を実施しました。

## 研究倫理の遵守

### 第三者を含む委員会を設置

シスメックスは、臨床研究やヒトゲノム・遺伝子の解析研究に取り組む企業として、「人間の尊厳の尊重」「個人情報の保護の徹底」などを基本方針とする「臨床研究開発及びヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規程」を定め、法律・科学の専門家などの社外委員をメンバーに含む「研究倫理審査委員会」を設置し、研究内容を審査しています。

委員名簿や審査結果は当社Webサイトで公開し、透明性を確保しています。

## バリューチェーンにおけるCSRの推進

### 調達方針

- 優れた製品の提供を通じた医療への貢献
  - お取引先との信頼関係に基づく相互成長・発展
- より良いパートナーシップ
  - 公正かつ透明性の高い購買取引
  - 関係法令の遵守と機密保持
  - 環境への配慮

### 購買方針説明会を開催

毎年、調達先に当社の事業の方向性と調達方針をご理解いただく機会として購買方針説明会を開催し、関係強化に努めています。

2012年2月に開催した説明会には、225社、397名の方々に出席いただき、当社の事業活動や今年度の購買方針などを説明しました。また、1年を通して、当社製品の競争力および信頼性向上、安定供給などに特にご協力をいただいた調達先5社を表彰させていただきました。



購買方針説明会

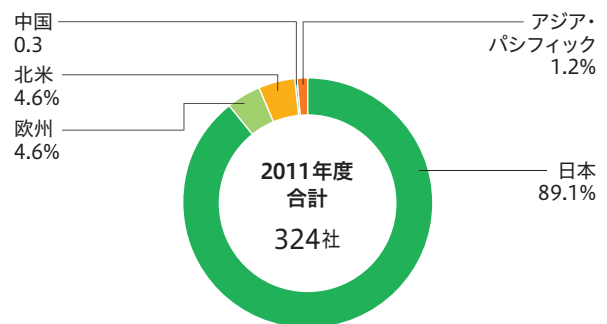
### 調達部品・原材料の品質向上に向けて

お客様に、確かな品質の製品を安定的に提供するためには、調達部品・原材料の品質を維持・向上する必要があります。そこで、調達先に対して、品質マネジメントシステムを自己診断

できるチェックリストを提供したり、調達部門、品質管理部門のメンバーが調達先の工場を訪問し、現場の品質改善に協力するなど、調達先の品質活動を支援しています。

2009年度からは、品質に関する要求事項を明示した品質保証協定書を作成し、調達先との締結を進めています。加古川工場では、継続的に取引がある148社のうち、2011年度末までに、119社と締結を完了しました。また、協定書の内容に対する理解を深めていただくため手引き書を作成しています。

### 調達先数※



※ 製品用部品・原材料の調達先の数。

### 下請法の遵守を徹底

下請法の遵守を徹底するために、全社的にeラーニングによる教育を実施しています。また、電子購買システムを構築し、不当な代金減額や返品を防止するとともに、同システムに関する研修を毎年実施しています。2011年度は、研究開発部門に配属された新入社員を含む、63名がこの研修を受講しました。

### 販売代理店との間で基本となるコンプライアンスに注力

シスメックスは、販売代理店と良きパートナーシップを維持するために、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。販売代理店との関係において、従業員が遵守すべきルールとして「優越的地位濫用の禁止」「過剰な接待・贈物の禁止」などを定め、これらを遵守しています。

販売代理店に対しては、新製品発売時に開催する「製品説明会」などでシスメックスのコンプライアンスに関する方針や活動を説明し、コンプライアンスの重要性を認識いただいています。また、2008年度からは、腐敗防止を徹底するために「シスメックスプロモーションコード」を制定し、販売代理店とともに公正な販売を維持するための取り組みを推進しています。

# 期待を超える品質と満足を追求

シスメックスは、製品・サービスの品質をさらに高めるとともに、お客様の安全や使いやすさに配慮し、安心して使用いただくためのしくみづくりに精力的に取り組んでいます。

お客様が真に求めるものは何かを追求し、ご期待を超える満足を提供することを目指していきます。

## 品質の確保

### 品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

### 行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立って行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組めます。

2007年5月改定

なお、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001またはISO13485※を、開発・生産機能を持つすべてのグループ会社で取得しています。2012年3月末現在、シスメックスグループ全47社中25社がISO9001の認証を取得し、また、ISO13485もグループ会社13社で認証を取得しています。

※ ISO13485：医療機器産業向けの品質マネジメントシステム規格。

### 製品の品質を確保するために

臨床検査で用いられるシスメックスの製品は、人々の生命と健康を守るうえで極めて重要な役割を果たしています。そのため、製品の設計・開発段階において、世界各国の安全規格を満たすことはもちろん、さまざまなしくみを構築して、製品品質の維持・向上を図っています。

新製品の開発においては、市場に導入するまでのプロセスにおいて5つの「クオリティ・ゲート」を設けて品質を確認しています。また、シスメックスが販売する他社製品についても製造業者への監査や製品の検査を実施し、品質確保に努めています。

2011年4月に、グローバル品質苦情処理システムを稼働しました。本システムの導入によって、グローバルかつタイムリーに市場から品質情報を収集することができるようになりました。不具合情報を入手した際は、直ちに原因を究明し不具合品の市場流出を防止しています。

## サービス&サポート

### お問い合わせに、迅速・確実にお応えするために

シスメックス(株)では、日本国内のお客様のための相談窓口「カスタマーサポートセンター」を設置し、豊富な知識を持った専任スタッフが、24時間365日体制(別途契約が必要)でお問い合わせに対応しています。

同センターでは、過去のお問い合わせ内容やメンテナンス履歴などを蓄積し、すぐに参照できるようにすることで、お客様からのお問い合わせ・ご要望に迅速・確実にお応えしています。なお、相談窓口は海外4地域(アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィック)の各統括会社にも設置しています。

### グローバルな品質マネジメントシステムの構築

シスメックスでは、「シスメックスコーポレーション品質コンプライアンス方針」に基づき、国際的な法令、規格などを遵守するための体制を整備し、活動しています。同時に、これらが確実に実行されていることを確認するためにグローバルな内部品質監査を実施しています。なお、2011年度は従来からの海外工場に加え、海外の調達先も品質監査の対象としました。

また、2011年度から海外の主要法人および海外工場の品質活動を本社品質保証部門にて集約し、マネジメントによるレビューを受けるしくみを導入しました。

さらに、毎年一回、「グローバルRA・QA(レギュラトリーアフェアズ・クオリティ アシュアランス)ミーティング」を開催しています。この会議ではシスメックス(株)と、アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィックの各地域統括会社や関係会社から品質マネジメントシステムの担当者が集合し情報共有することで、製品に関する法規制への対応や品質保証体制の強化に取り組んでいます。

## お客様の日々の精度管理をサポート

病院などの医療機関では、毎日の検査データの信頼性を確保するために検査装置の精度を日々管理しています。一般には「コントロール」と呼ばれる専用の試料を測定し、その結果をアッセイ値並びに前日の測定結果と比較することによって、検査装置の状態をチェックします。

シスメックスは、このコントロールを提供してお客様の精度管理をサポートしています。さらに、お客様のもとにある検査装置と、当社のカスタマーサポートセンターをオンラインで結ぶ「シスメックス・ネットワーク・コミュニケーション・システムズ(SNCS)」を構築しています。カスタマーサポートセンターでは、この「SNCS」を通じてお客様の検査装置から送られてくるコントロールの測定値を受信し、異常の有無を判定して結果を返信するサービスを提供しています。

またSNCSを用いれば、お客様が気づく前に不具合の予兆を察知することができるため、検査装置の故障予防にも貢献しています。こうした予知・予防のサポート体制やネットワークを活用したりリモートメンテナンスサポートなどを今後さらに強化していく予定です。



カスタマーサポートセンター

## 製品の安全性確保

### けがや感染を防止するために

ユーザーである検査技師や看護師の方々の安全を守るために、薬事法の遵守はもとより、厳しい社内規格に則って製品を設計・開発しています。

臨床検査装置では、作業時にけがをした場合、その傷口から感染する恐れがあります。そこで、検査装置の内部の部品については、けがの原因になりうる尖った部分(エッジ)をなくす、採血管に穴を開ける針を交換する時には針先が人の手に触れないようにするなど、製品の安全性を確保するためのさまざまな工夫をしています。

## 安全性・品質に関する情報

### Webサイトで回収・改修の情報を開示

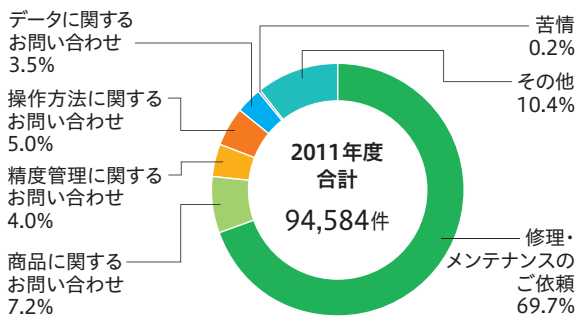
シスメックスでは、製品の回収・改修などの情報を「製品に関する重要なお知らせ」としWebサイトに掲載しています。2011年度は、製品の自主的な回収・改修に関する情報15件を開示しました。

### お客様からの情報を社内で共有化

シスメックスは、製品の品質と安全性に関する情報を管理する安全性情報部門を設置しています。

お客様などから寄せられた品質や安全性に関する情報を調査・分析し、その結果をお客様にお伝えするとともに、当社設計・製造部門などの関連部門と共有することで、品質の改善や新製品の開発などに活かしています。

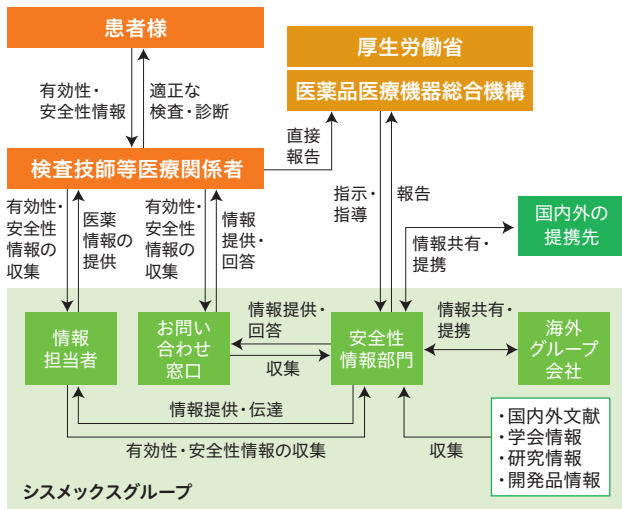
### カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ内容の内訳



### オンライン精度管理サービスに登録いただいている検査装置の世界累計



## 製品の品質と安全性に関する情報を管理する体制



## 偽装試薬への注意喚起を実施

シスメックスでは、正確な検査結果を確保するために、医療機関のお客様には純正の装置と試薬のセットで使用いただくようお願いしています。しかしながら、近年、アジアの一部の国でシスメックス製試薬を偽装した試薬の流通が発見されています。これら偽装試薬を使用した場合、検査結果の信頼性が確保できず、場合によっては患者様に健康被害をもたらす危険性もあります。

シスメックスは、こうした偽装試薬の市場流通状況を継続的に監視しており、偽装試薬を発見した場合は、各国の行政への協力や、必要に応じて司法への告発などに取り組んでいます。

## 学術活動

### 医療従事者向けの学術セミナーを開催

シスメックスは、医師や看護師、臨床検査技師などの医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会を開催し、学術情報を発信しています。2011年6月には、神戸・東京・仙台・福岡の4会場と、サテライト会場5箇所の計9会場を衛星中継で結び、「がんのゲノムとエピゲノム ～ゲノムレベルで調べる検査の将来～」をテーマとして、第34回シスメックス学術セミナーを開催しました。

また、アジアをはじめとして海外でも積極的に学術活動を展開しています。2011年度は、インドネシア、中国、台湾などでセミナーを開催しました。中でも現地独資会社設立後初めての開催となる台湾では、全土から400名以上の方々に参加いただきました。



中国学術セミナー

## 100カ国以上の国々で学術雑誌を発行

「シスメックスジャーナル・インターナショナル」を、世界100カ国以上の医療機関や大学図書館に配布し、多くの医療関係者の方々に臨床医学および検査に関する最新の情報を発信しています。

## 病気や検査をテーマとした絵本を発行

シスメックスでは、病気や検査に関する教育・啓発のための絵本を作成、一般診療所などの医療機関に配布して、待合室などに置いていただいています。

この絵本は、病気の特徴や検査・治療の方法について、わかりやすく紹介したもので、医学の知識がない方々や子どもにも興味を持って読んでもらえるよう、物語形式としています。お読みいただいた方々から好評をいただいています。

## 試薬の安定供給

### 医療に不可欠な検体検査を確実に実施できるように

シスメックスでは、製品の安定供給を確実に実施できるように、体制整備や施設の拡充を進めています。2011年度は、試薬の生産能力を向上するために、小野工場の増改築を実施しました。生産エリアを拡充し、既存製品の生産設備能力を1.5倍に拡大したほか、新製品をスムーズに量産化できるようにしました。また、生産技術力の強化・充実に向けて、パイロットエリア(試験場)を新設しました。一方、災害時の対応として、原材料の調達プロセスなどの見直しを進めています。

また、急増する中国の需要に対応するため、現在、シスメックス・済南の敷地内に新たな生産工場の建設を進めており、2012年度中に竣工の予定です。

# グローバルに社会貢献活動を展開

シスメックスは、企業市民としての責任を自覚し、医療分野をはじめとして、幅広い分野にわたって積極的に社会貢献活動を実施しています。

グローバル企業として、その活動範囲は創業の地、日本の神戸から世界中に広がっています。

## 基本的な考え方

シスメックスは、今後の社会貢献活動の方向性を示した社会貢献方針を2012年5月に制定しました。

### 社会貢献方針

シスメックスは、豊かな健康社会、生き活きとした地域社会作りにつながる社会貢献活動を積極的に行うとともに、従業員の主体的な社会貢献活動を支援します。

#### ■ 豊かな健康社会への貢献

ヘルスケア企業としての特徴を活かした社会貢献活動を積極的に展開し、より豊かな健康社会づくりに貢献します。

#### ■ 生き活きとした地域社会への協力

「企業市民」として社会と価値観を共有し、社会貢献活動への賛助ならびに自らもその活動に参画することにより、生き活きとした地域社会の実現に協力します。

#### ■ 従業員の社会貢献活動への支援

従業員がグループの一員であることに誇りをもち、市民として社会貢献活動を主体的に実践できるように支援します。

2012年5月制定

では、新規検査方法およびバイオマーカーの開拓や検査診断評価など、臨床検査の有用性を臨床の場で科学的に明らかにするための基礎および臨床研究に取り組んでいます。

また、地元大学の教育研究活動の活性化に向けて、神戸大学医学部会館の建設を支援しました。会館内には、研究発表などで活用するためのホールが設置され、シスメックスホールと命名していただきました。

## 乳がんピンクリボン活動に協力

2004年度から継続して、乳がんの早期受診・治療を推進するピンクリボン活動を支援し、シンポジウムの開催などに協賛しています。2011年度は、神戸で開催された関連イベント「スマイルウォーク」に初参加しました。また、社内でも、講演会の開催や映画上映の実施、ピンクリボン自動販売機<sup>※1</sup>の設置など、積極的にピンクリボンの啓発活動を行いました。

※1 ピンクリボン自動販売機：飲料代の1%が「乳がんをなくすほほえみ基金」<sup>※2</sup>に寄付される自動販売機。

※2 乳がんをなくすほほえみ基金：公益財団法人日本対がん協会が設けた基金で、医療機関での乳がん検診機器の整備・拡充や患者の支援などが主な用途。



ピンクリボンスマイルウォーク(神戸)

## 日本

### 神戸医療産業都市構想への参画

「神戸医療産業都市構想」は、産官学が協力して神戸市への医療・産業の集積を図るプロジェクトです。

シスメックス(株)は、プロジェクトの中心的な拠点の一つである「神戸臨床研究情報センター」内に「シスメックス浅野研究室」を開設し、血液学の第一人者である浅野茂隆博士(東京大学名誉教授、早稲田大学理工学術院特任教授)のご指導のもと、自己免疫疾患の的確な病態診断や細胞療法の有効性・安全性を高める免疫診断技術の開発を目指して研究を進めています。

### 寄附講座の開設

2004年度から、神戸大学大学院医学研究科に寄附講座「立証検査医学講座(シスメックス)」を開設しています。同講座

### エコキャップ運動への参加

シスメックスは、2008年度からエコキャップ運動に参加しています。この運動は、NPO「エコキャップ推進協会」にペットボトルのキャップを送付すると、その数に応じて発展途上国の子どもたちにワクチンが寄贈されるというものです。当社は、これまでワクチン約1,000名分に相当するキャップを送付しています。

## JICA研修生の受け入れ

シスメックス(株)は、毎年、JICA(国際協力機構)を通じて発展途上国の医療従事者を受け入れ、検査機器の使用方法などに関する研修を実施しています。

2011年度はアフリカから計3回研修生を受け入れ、工場・事業所の見学や技術研修などを実施しました。

## 学生に就業体験・出張授業を提供

シスメックス(株)では、毎年、インターシップとして就業体験を希望する学生などを受け入れています。2011年度はロシア・モスクワ大学からのインターンシップ生2名に対し、海外市場調査に関するアシスタント業務などを体験してもらいました。

また、神戸市近隣の高校や大学院からの学生を受け入れるとともに、兵庫県下の中学生を対象に実施されている職場体験プログラム「トライやるウィーク」にも毎年協力しています。2011年6月には、加古川市の中学生2名を受け入れ、3日間検査業務などを体験してもらいました。

さらに、「神戸市キャリア教育人材バンク」に登録し、依頼のあった中学校や、高校2校において出張授業を実施しました。また、兵庫県下の理数系の高校生が研究成果を発表し、企業、大学、研究機関と交流するイベント「第4回サイエンスフェア in 兵庫」に参加しました。



トライやるウィークで業務を体験する中学生たち

## 地域の方々と交流イベント「テクノパークフェスタ」

シスメックス(株)は、地域住民の方々を当社の研究開発拠点「テクノパーク」にお招きし、交流を深めるイベント「テクノパークフェスタ」を毎年開催しています。

2011年度は11月に開催し、500名を超える参加者に、講演会や施設の見学ツアーなどを楽しんでいただきました。

また、4月にテクノパーク内の日本庭園を一般開放し、400名以上の地域住民の方々に来場いただきました。

## 地域振興の支援

シスメックス(株)は、地元兵庫県の地域振興を目的とするイベントなどに対して寄付や協賛を通じて支援しています。

### ●神戸ルミナリエに協賛

1995年阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の鎮魂の意を込めるとともに、神戸・兵庫の復興・再生への夢と希望を託して始まった「神戸ルミナリエ」に毎年協賛しています。

### ●阪神淡路大震災メモリアルコンサートに協賛

「夢」「希望」「愛」などのテーマで、市民から公募された詩を女優竹下景子さんが朗読する「詩の朗読と音楽の夕べ」に毎年協賛しています。

### ●総合芸術祭神戸ビエンナーレに協賛

神戸の芸術文化のいっそうの振興と街の活性化を目的として2年に1回開催されている芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」に協賛しています。

### ●神戸市立王子動物園の「動物サポーター制度」に協力

「動物サポーター制度」は、企業や個人が動物のサポーターとなって動物園の運営を支援するもので、当社は人気の高いパンダのサポーター企業となっています。

## 自然環境保全への貢献

シスメックス(株)では、2008年度に環境保全活動に関心がある従業員が「エコチーム」を結成し、さまざまな活動に取り組んでいます。

2011年度は、2010年度に引き続き、須磨海岸(兵庫県)での清掃活動「須磨海岸クリーン作戦」や、六甲山(兵庫県)で行われている植樹・育樹活動「鶴甲の森づくり」に参加しました。



「鶴甲の森づくり」での植樹・育樹活動



## アメリカ——

### がん関連の寄付イベントに継続参加

シスメックス・アメリカは、2009年度から継続してがん関連の寄付イベントに参加しています。2011年度もアメリカがん学会、アメリカ心臓協会、全米白血病リンパ腫協会の各団体が主催したイベントに協賛しました。



寄付金の贈呈(全米白血病リンパ腫協会のジョージア支部のイベントで)

### 子どもたち向けのイベント開催

シスメックス・アメリカでは毎年、子どもたちを職場へ招待し、いろいろな体験の場を提供しています。

今年のイベントのテーマは「未来のヒーロー」で、ダンボールを使って自分たちのヒーローを作成しました。また、ごみ拾い競技や撮影会なども実施し、楽しんでいただきました。



会社見学会に参加した子どもたち

### 地元の高校生を支援

シスメックス・アメリカは、従業員のボランティア活動などを企業に促すことを目的として設立されたNPO「カンパニーズ・ザット・ケア」の活動の一つ「エイム・ハイ・アーバン・メンタリング・イニシアティブ」に参加しています。この活動は、地元

高校生のアドバイザーを務めたり、経済的な支援を継続して実施するもので、シカゴの公立高校3校の生徒を支援しています。

これらの取り組みが評価され、シスメックス・アメリカは2011年度、地域社会への貢献活動や働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる企業に対して与えられる「カンパニーズ・ザット・ケア・アワード」を受賞しました。今回で2008年度から4年連続の受賞となります。

### ハイウェイの清掃

シスメックス・アメリカは、会社近隣のハイウェイで実施されている清掃キャンペーンに毎年参加しています。2011年度は5月に開催され、8名の従業員ボランティアが参加しました。

## ヨーロッパ——

### 子どもたちを支援する活動を継続

2011年度、シスメックス・ヨーロッパとシスメックス・ドイツでは2010年度に引き続き、クリスマスにチャリティーのくじ引きイベントを開催しました。サプライヤーにも協力をよびかけた結果、3,000ユーロの収益金が集まり、その全額を障がいを持つ子どもたちを支援する慈善団体や非営利の脊髄ドナーセンターなどに寄付しました。

また、展示会で使用した机などの備品を地元の学校に寄贈しました。

### 作業の一部を障がい者支援団体に委託

シスメックス・ヨーロッパとシスメックス・ドイツは、材料の選別やカートの折り畳みなどを障がい者の自立支援に取り組む団体に委託し、障がい者の方々に自社の製造ラインで作業に取り組んでいただいています。



製造ラインで働く様子

## 中国

### 当社血球計数装置が検査の標準化に貢献

北京市医療器械検験所(BIMT)の血球計数検査の国家標準を決める標準器に、シスメックスの血球計数標準器が採用されました。BIMTは、中国の国家食品薬品監督管理局(SFDA)の下部組織として医療機器などの登録検査を行う機関で、標準器を導入するのは今回が初めてとなります。

今回貸与した標準器をもとに、中国の血球計数検査の精度向上やSFDA関連の登録検査機関における検査の標準化が図られることとなります。



当社の血球計数標準器を中国の北京市医療器械検験所に無償貸与

## アジア・パシフィック

### 医療情報学科で学ぶ学生の表彰を支援

シスメックス・ニューージーランドは、情報技術を通じてより良い治療法を実現するため、革新的な思考をもった学生を育てることを目的として、オークランド大学の医療情報学科で実施されている学生表彰に協賛しています。

2011年の表彰は9月に実施され、当日はシスメックスのスタッフが大学で講演を行ったあと、最優秀と評価された学生論文の著者を表彰しました。

### ニューージーランドでウォーキングイベントに参加

2011年度、シスメックス・ニューージーランドでは従業員ボランティアがオックスファム※主催のウォーキングイベントに参加し、2日間にわたって100kmの行程を歩きました。

このイベントで集められた募金は発展途上国の貧困地域の支援に役立てられます。

※ オックスファム: 発展途上国などで貧困に苦しむ人々をサポートするとともに、貧困そのものをなくすための活動に取り組んでいる団体。世界90カ国以上で活動している。

### 各地で植樹活動を実施

「より環境に優しい会社を目指して」の実現に向けて活動に取り組むアジア・パシフィック地域の従業員チーム(グリーンナー・シスメックス・チーム)では、2011年度、各地で植樹・緑化活動を実施しました。

2011年4月にシスメックス・タイ、11月にはシスメックス・マレーシアが、マングローブを植樹しました。また、2011年5月にシスメックス・フィリピン、2012年2月にシスメックス・インドネシアで植樹活動を行いました。



植樹活動(インドネシア)

### マレーシアで高齢者向け福祉施設を慰問

2011年度、シスメックス・マレーシアのグリーンナー・シスメックス・チームは、地元NPOが運営する高齢者向け福祉施設を支援しました。食料品や日用品を寄付したほか、従業員ボランティアが施設を訪問し、お年寄りたちと昼食をともにしながら歓談しました。

### 「シスメックス あんしんレポート2012」を読んで

#### 1. 「あんしん」を提供する企業として

シスメックスは企業理念Systemex Wayのなかに「安心を追求する」と明記され、本報告書のタイトルも「あんしんレポート」と名づけ、安心を重視していることを強調されています。「あんしん」がシスメックスのCSR経営のポリシーであることが明示されることによって、一本芯の通った報告書となっています。特集1では新製品「XNシリーズ」が利用者と環境に配慮し安全に利用できる製品であることを紹介しています。本報告書ではこのほかいろいろな側面での安心が記載され、シスメックスグループ経営の根幹にあるものが理解できます。

#### 2. 「社会貢献方針」の制定

2012年5月には「社会貢献方針」を制定され、企業市民としてグローバルでの社会貢献のあり方を示されました。本業を通じた国際的な社会貢献は、シスメックスのCSRのなかで重要な課題であり、期待される分野です。今後は社会性項目についても具体的な目標の設定と実績のマネジメントを行われれば、さらに大きな成果が生み出せると思います。

#### 3. グローバル展開を意識したCSR

本報告書はISO26000に沿った構成となっています。売上の4分の3を海外が占めるグローバル企業として、

神戸大学大学院  
経営学研究科教授  
國部 克彦 様



国際規格を意識することは大切であり高く評価されます。同時に2011年にISO26000をもとにCSR活動の現状分析を実施し、重要課題を抽出され、CSR計画を策定中であることが記載されています。次のステップとして、環境における「シスメックス・エコビジョン2020」のような中長期のビジョンを打ち出され、行動計画を具体化されることを期待しています。シスメックスでは着実に環境やCSR活動を進められていますが、「あんしんレポート」は年次の報告であることから、当該年度の進捗度が分かるような開示を期待しています。

#### 4. ステークホルダーとのコミュニケーション

さまざまなステークホルダーとの対話の機会をもたれていますが、次のステップとして、シスメックスグループのCSRという大きな課題を共通テーマとした対話が期待されます。CSR計画を策定し実行するにあたり、外部の声を取り入れていくことは重要です。CSR活動を広くステークホルダーに理解してもらうとともに、活動の透明性を確保するために、ぜひご検討ください。

### ご意見を受けて

真摯かつ丁寧なご意見をくださった國部先生に感謝申し上げます。

ステークホルダーの皆様へ安心をお届けするための取り組みは、シスメックスの重要な社会的責任であると認識しており、今後も積極的に取り組んでまいります。

また、医療の発展や地域社会の課題解決に貢献するために、新たに制定した社会貢献方針に基づいて一歩一歩着実に取り組みを進めてまいります。

CSRマネジメントについては、2011年度に抽出した重点課題に基づいて、今後、具体的なCSR計画を策定していく

取締役 専務執行役員  
CSR・環境推進担当  
雪本 賢一



所存です。また、策定にあたっては、ステークホルダーのニーズをしっかりと把握してまいりたいと考えております。

今後も國部先生をはじめとして、ステークホルダーの皆様からのご期待にお応えできるようにCSR活動を着実にステップアップさせていく所存です。

# 会社情報

## 会社概要

社名	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	事業内容	臨床検査機器、検査用試薬、 ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・ 販売・輸出入
設立	昭和43年(1968年)2月20日	主な販売先	国公立病院、一般病院、大学、研究所、 その他医療機関 ほか
資本金	91億8,731万円(2012年3月31日現在)	輸出先	世界170カ国以上
代表者	代表取締役社長 家次 恒	関係会社	46社(国内7社、海外39社)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号		

## 事業内容

### 検体検査事業

検体検査事業では、血液や尿、細胞などを採取して、その成分を分析するための機器・試薬・ソフトウェアをお客様にお届けしています。特に、赤血球・白血球の数や機能を調べる検査装置(血球計数検査)、血液の固まりやすさを調べる検査装置(血液凝固検査)では、トップブランドとしてお客様から評価いただいています。また、シスメックスは機器だけでなく、試薬やソフトウェア、さらには検査装置のメンテナンスや、学術サポートなど幅広い製品とサービスを

を融合し、検査業務の効率化とともに質の向上をご提案しています。

### ライフサイエンス事業

シスメックスは検体検査事業で培った技術をもとに、遺伝子、たんぱく質などを調べる最新のテクノロジーを用いて、全く新しい検査・診断技術の創出に注力しています。主にがんの確定診断や再発予防を目的とした研究開発を行っており、がん細胞のリンパ節への転移の有無を短時間で調べる検査技術については、世界各国で市場導入を進めています。

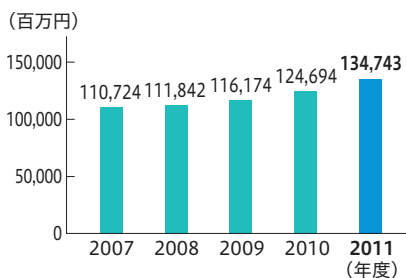
また、抗がん剤の効果を調べる技術については、事業化に向けて研究開発を進めており、患者さんのQOL向上への貢献を目指しています。

### その他事業(ヘルスケア分野など)

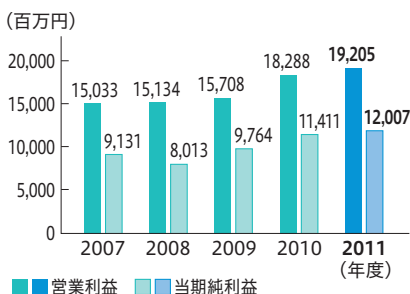
採血せずにヘモグロビンを推定できる装置のほか、健康管理支援や保育業務支援など、各種ソフトウェアを商品化し販売しています。また、検体検査事業で培った計測技術を応用し、工業分野向けの粒子計測装置の開発を行っています。

## 財務データ

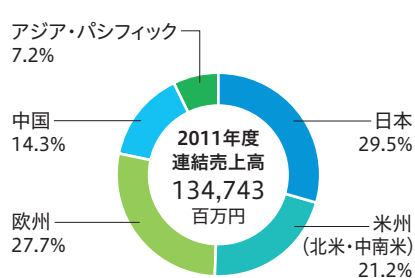
### 連結売上高



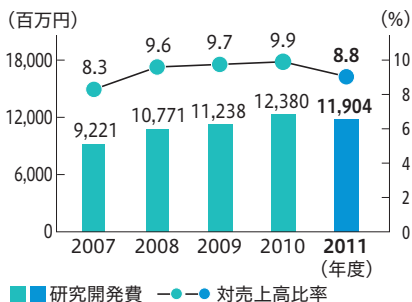
### 連結営業利益/連結当期純利益



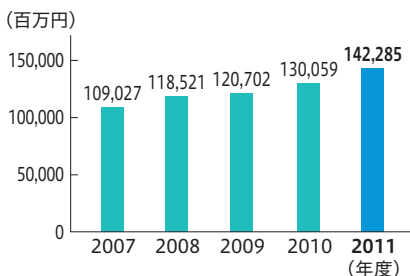
### 地域別売上高



### 研究開発費



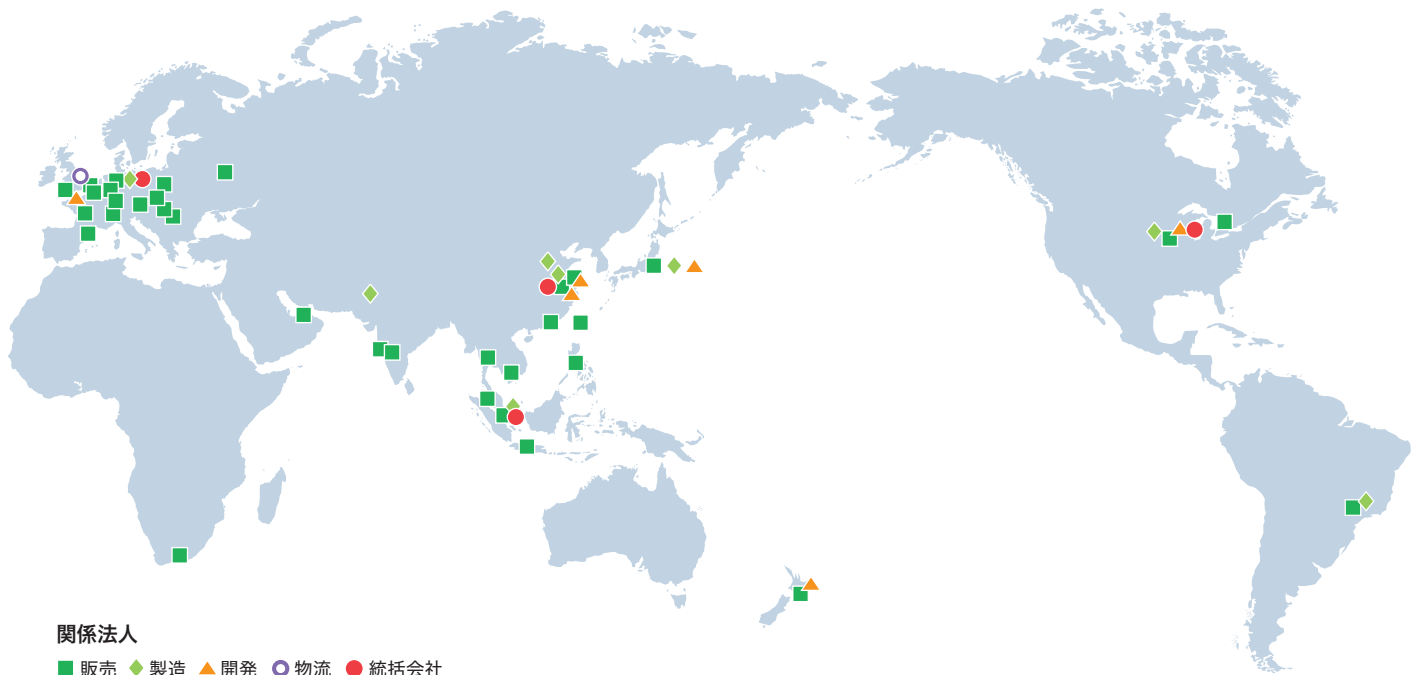
### 連結総資産



### グループ従業員数



## グローバルネットワーク



## 主な外部表彰(2011年度)

- 「サイレントデザイン®※1」を適用した臨床検査システムが、「2011年度 グッドデザイン金賞」を受賞
- 白血球の分類・計数に関する独自の手法・試薬開発で、社団法人発明協会主催の全国発明表彰「発明賞」を受賞
- 「抗ヒトミトコンドリアCK 活性阻害抗体を用いたCK-MB 活性測定試薬「エルシステム・CK-MB」の概要」
- 「2012 Honor Roll※2」に選出(シスメックス・アメリカ)
- 「Best Companies to Work in Healthcare※3」に選出(シスメックス・アメリカ)

- 化学セミナーやワークショップなどの開催で地域の医療に貢献したとして、国内の複数医療機関から表彰(シスメックス・フィリピン)

※1 サイレントデザイン®: 機能・性能の向上に加えて、ユーザーである臨床検査技師の方の負担軽減を目的としたシスメックス(株)独自のデザインコンセプト。

※2 2012 Honor Roll: 従業員とその家族、地域社会の幸福に寄与している企業を選出する企業ランキング。NPO「Center for Companies」の調査による。

※3 Best Companies to Work in Healthcare: 医療業界から従業員にとって働きがいのある会社を選出・表彰する企業ランキング。業界誌「Modern Healthcare」の調査による。



**We Believe the Possibilities.**

---

**シスメックス株式会社**

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)